



SEGA
SAMMY
GROUP

CSR 18

BOOKLET

20



CONTENTS

- 1 編集方針・報告対象範囲・会社概要
- 2 グループ概要・パフォーマンスの推移(連結)
- 3 TOP MESSAGE
セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長グループCEO 里見 治
代表取締役社長グループCOO 里見 治紀
- 特集**
- 5 エンタメで社会をポジティブにする「Playbit」
- 7 セガサミーグループの復興支援活動
- 10 マネジメント
- 17 お客さまとともに
- 25 お取引先とともに
- 29 社員とともに
- 37 株主・投資家とともに
- 39 社会とともに【環境】
- 43 社会とともに【社会貢献】

編集方針

セガサミーグループのCSR活動の取り組みを様々なステークホルダーの皆さまに報告し、コミュニケーションを図りながら活動と情報開示を充実させていくことを目的として発行しています。統合レポートに特に投資家の重視するESG情報が掲載されたことをうけ、2018年より統合レポートに掲載されていない項目やCSRの観点でより深く報告すべき項目を掲載するようにしております。また社員のVOICEコーナーを充実しセガサミーグループの事業や取り組み、働き方をより具体的に感じていただけるようにしました。

【参考にしたガイドライン】

GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード2016」
ISO26000(社会的責任に関する手引き)

【発行時期】

2018年9月
(前回発行：2017年9月、次回発行予定：2019年9月)

報告対象範囲【対象期間】

2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)
一部対象期間外の活動も時期を明示して掲載しています。

【対象組織】

セガサミーホールディングス(株)、(株)セガホールディングス(主な事業グループ会社を含む)、サミー(株)

【掲載されている組織略称の説明】

(各セグメント)

E=エンタテインメントコンテンツ事業、遊=遊技機事業、R=リゾート事業 グループ=セガサミーホールディングス(株)、エンタテインメントコンテンツ事業、遊技機事業およびリゾート事業

(各セグメントの主要企業)

SSHD:セガサミーホールディングス(株)、SHD:(株)セガホールディングス、SAMMY:サミー(株)、TOYS:(株)セガトイズ、TMS:(株)トムス・エンタテインメント、SNW:(株)サミーネットワークス、PSR:フェニックスリゾート(株)、SE:(株)セガ エンタテインメント、SIC:(株)セガ・インタラクティブ、SGC:(株)セガゲームス、アトラス:(株)アトラス、ELEC:タイヨーエレクトリック(株)、SLS:(株)セガ・ロジスティクスサービス、DL:(株)ダーツライブ、MARZA:マーザ・アニメーションプラネット(株)、JMS:ジェイエムエス・ユナイテッド(株)、OP:(株)オアシスパーク、銀座:(株)銀座、ロデオ:(株)ロデオ、SSC:セガサミークリエイション(株)、BTF:(株)バタフライ、PSS:(株)パラダイスセガサミー、SSGE:セガサミーゴルフエンタテインメント(株)、JNEXT:ジェイ・ネクスト(株)

・一部、その他のグループ会社も対象組織に含まれる活動があります。

※ 所属・肩書は取材当時のものです。

会社概要 **SEGA**Sammy HOLDINGS

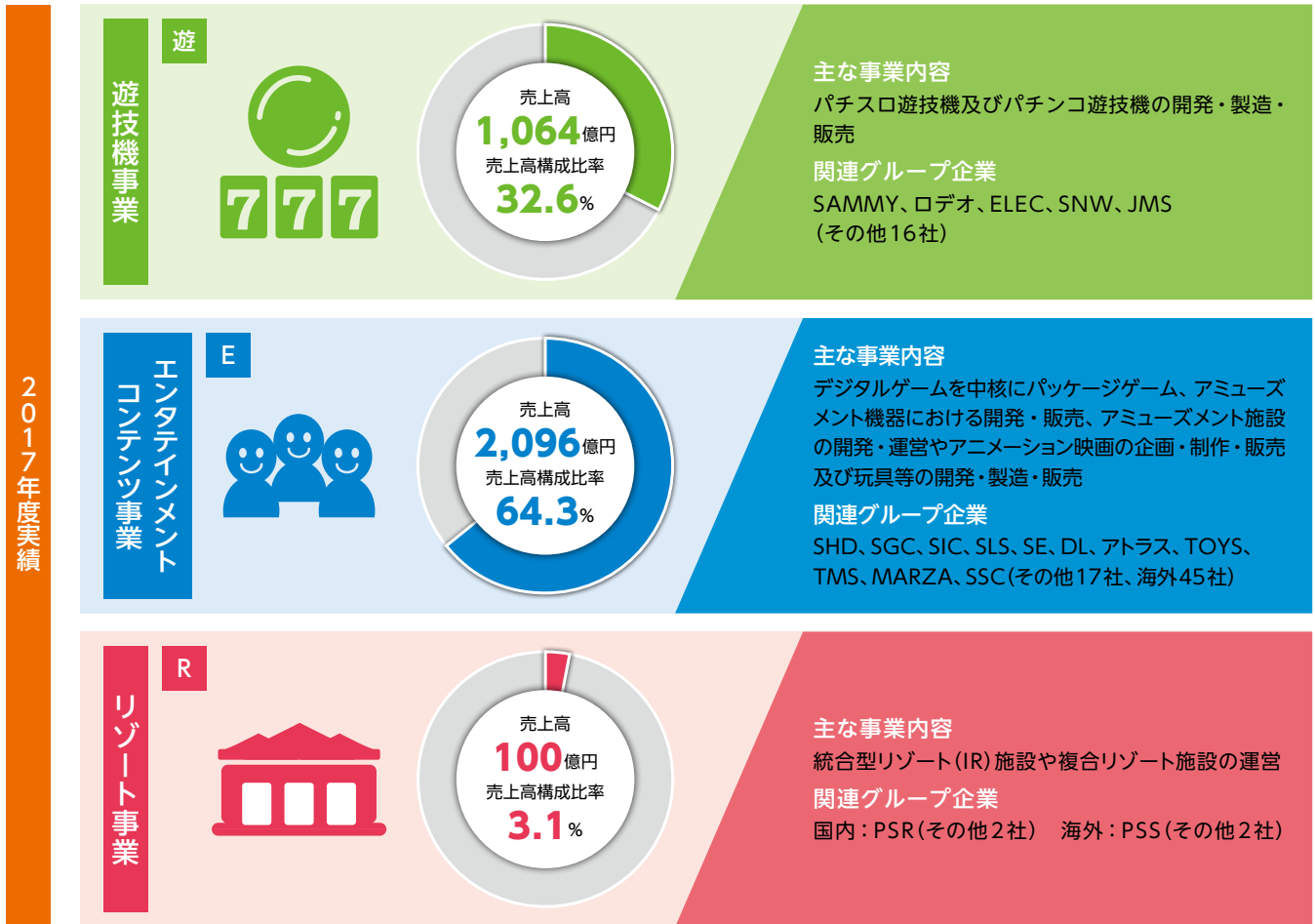
社名 セガサミーホールディングス株式会社
本社所在地 〒141-0033
東京都品川区西品川1丁目1番1号
住友不動産大崎ガーデンタワー
設立 2004年10月1日
資本金 29,953百万円

代表取締役会長グループCEO 里見 治
代表取締役社長グループCOO 里見 治紀
事業内容 総合エンタテインメント企業
グループの持株会社として、
グループの経営管理および
それに付随する業務
社員数 149名

2018年3月31日現在

グループ概要

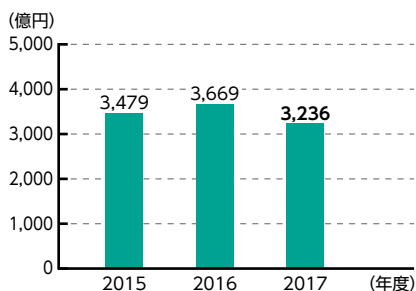
セガサミーグループは、幅広い領域で事業展開する総合エンタテインメント企業グループとして、大人から子どもまであらゆる年代のお客さま、国内、海外のお客さまに感動体験を創造し続けています。



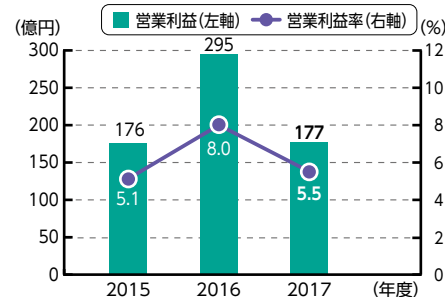
※ 内部調整売上高が含まれています。

パフォーマンスの推移(連結)

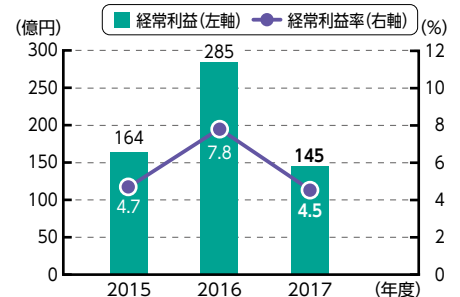
● 売上高



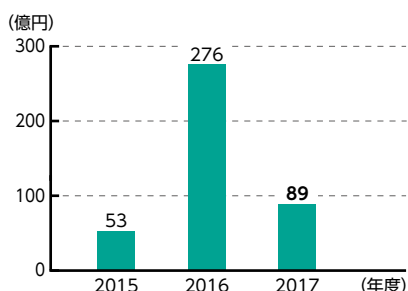
● 営業利益／営業利益率



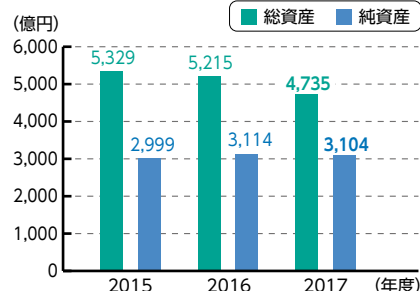
● 経常利益／経常利益率



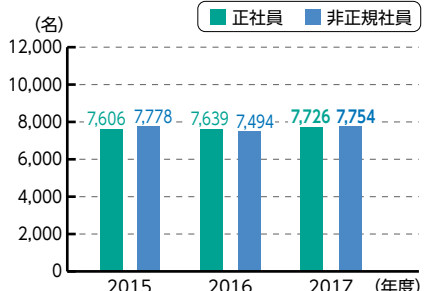
● 親会社株主に帰属する当期純利益



● 総資産／純資産



● 社員数





総合エンタテインメント企業 として革新的な感動体験を 創造し、豊かな社会を 実現する。

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長グループCEO

里見 治

革新者として社会の新しい価値を創造

セガとサミーの経営統合から10年以上が経過し、私たちを取り巻く事業環境も大きく変化しています。このような状況において、「感動体験を創造し続ける～社会をもっと元気に、カラフルに。～」というグループミッションのもと、50を超えるグループ会社が丸となって社会の変化や技術革新に機動的に対応し、時代に合った良質なエンタテインメントを創造し続けることが私たちの存在意義であると考えています。

変化の潮流が激しいエンタテインメントの世界で常に価値を提供し続けるためには、遊技機、エンタテインメントコンテンツ、リゾートの各事業がそれぞれの業界における「革新者」であり続けなければなりません。あらゆるエンタテインメントにおいて社会の期待を超える感動体験を提供し続けること、また、そのことを通じて社会の発展や豊かさに貢献していくことで、企業価値の持続的な向上を実現してまいります。

人財の力をさらなる成長のエンジンに

あらゆる世代へ革新的で良質なエンタテインメントを提供し続けるセガサミーグループの原動力は、8,000名に迫る人財が持つ柔軟で斬新な発想力やチャレンジ精神、何としてでも最後まで成し遂げようとする「突破力」です。そして、その人財交流の活性化による事業間の連携強化やシナジーの創出を目的に2018年8月、グループオフィスを集約しました。また、職種や生活スタイルが異なる従業員それぞれが生き生きと働くことで能力を発揮し、新たなイノベーションを創出できる環境づくりが今後のグループの成長の基盤になるとの考えから、柔軟な働き方を実現する制度に改革しました。

私たちが生み出す感動体験は、人々の心のゆとりや明日への活力となります。このことを全従業員が誇りに思っていて働くことができるよう、職場環境の整備と新制度の導入というハード、ソフト両面で施策を展開し、さらなる飛躍につなげてまいります。

世界ナンバーワンの総合エンタテインメント企業になるために

セガサミーグループは、エンタテインメントの究極の形といえる統合型リゾート (IR) の国内での実現を目指しています。

そのために遊技機やパッケージゲーム、アミューズメント施設経営などで培ってきた企画力・開発力・営業力といったノウハウや知見は、大きな強みとなります。

国内IRが実現すれば、新たな雇用の創出やインバウンドの増加に伴う国内・地域経済の活性化による財政の改善、国際競争力の強化といった、さまざまな好影響を生み出します。すなわち、国内IRを実現することは、日本の新たな基幹産業を育成することと同義だといえます。ホテルや商業施設、レストラン、劇場、コンベンション施設、カジノなどからなる総合エンタテインメントであるIRを訪れた人々に、日本ならではの感動体験を提供することで多くの笑顔をもたらすことができるのです。

セガサミーグループ全社員が「世界ナンバーワンの総合エンタテインメント企業になる」という夢を共有し、多くの人の笑顔と日本の将来のため、国内IR参入に向けて最大限の努力を続けていく覚悟です。

感動体験を通じた豊かな社会の実現

私たちは、いつ、いかなる時でもエンタテインメントを通じて世界中の人々に感動体験を届け、国際社会における「よき企業市民」であるべく、次代を担う子どもたちの育成を目的としたスポーツ・芸術文化への支援、社会・地域貢献活動、環境保護活動など、さまざまな活動を展開しています。

加えて、国際社会の持続的な発展に寄与するため、日本のゲーム・遊技機業界では初めて国連グローバル・コンパクトに署名し、国際社会の持続的な発展に寄与してまいりました。昨今は企業に対し、事業を通じた社会課題解決への貢献が一層強く求められています。永続的に企業活動を行っていくためには、あらゆるステークホルダーから信頼を獲得することが不可欠です。コンプライアンスの遵守を徹底しつつ、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために日本を含む193の国連加盟国の合意のもとで採択された、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」達成の貢献に向けての取り組みを行ってまいります。

セガサミーグループは自由で創造性・独創性が溢れる企業風土から皆さまが望むものを超越する感動体験を生み出しつづけることで、豊かで、笑顔が絶えない人生が送れる社会づくりに貢献していきます。

グループとして強固な 一体感を持ち、 “感動体験”の創出で世の中を カラフルにしていきます。

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役社長グループCOO

里見 治紀



「負」を超える「正」の感動体験で社会をカラフルに

セガサミーグループは、我々が目指す未来の方向性を個々の社員が明確に理解・実行するための指針である「ミッションピラミッド」を設定しています。そして、その中で私たちの存在意義を示す最上位の概念として「感動体験を創造し続ける～社会をもっと元気に、カラフルに。～」というグループミッションを掲げています。

エンタテインメントには、社会に対する「正」の部分だけではなく、ゲームが子どもに与える影響や遊技機へののめり込みなど、「負」の側面も指摘される宿命があります。2011年3月の東日本大震災では電力不足の中、パチンコホールやゲームセンターなどの娯楽施設で使用する電気量が問題となり、我々の提供するエンタテインメントの存在意義そのものが問われました。

たしかに、発災時にはライフラインの確保が最優先です。しかし、インフラが整ったところで、人々の心が荒んだままでは真の復興とは呼べません。本当の意味での復興には、一人ひとりに「明日への活力」が備わることが必要です。そして、それを提供できるのがエンタテインメントだと私は信じています。「負」を超える「正」の「感動」を提供していくことこそが、エンタテインメント企業としてのセガサミーグループの存在する意義であり、果たすべき使命だと考えます。

こうした想いを込めたのが、グループミッションにおける「～社会をもっと元気に、カラフルに～」というサブタイトルです。私たちは、社員が胸を張って「黒や灰色といった暗い色よりもっと明るい色を社会に提供する」という志を貫くことができる環境づくりをすすめ、その環境を土台にすることで世の中をもっとカラフルなものに変えていきます。

働き方「改革」から「改善」へ集大成

すべてのステークホルダーの中で最も優先されるべきは、人材だと考えます。優秀な人材がいるからこそ、お客さまに満足いただくことができ、お客さま満足が実現できてはじめて株主価値を提供できます。セガサミーグループではこのような考えのもと、人材の育成と能力を最大限に発揮させていくための

様々な取り組みを進めてきました。

その中核となる「働き方改革」については、労働時間や会議の回数・時間の大幅な削減、働き方の多様化等、徹底的に改革を推進してきました。2018年4月には、職種や生活スタイルなどが異なる従業員それぞれが、いきいきと働くことができ、そして能力を最大限発揮できる環境を整備することが今後のグループの成長に向けた基盤になると考え、業界に先駆けて副業制度【JOB+（ジョブプラス）】を導入しました。

また、同年8月にはグループ本社機能を集約しました。これにより、経営効率の向上や事業会社間の人財交流・事業連携の活性化、コワーキングスペースに誘致するベンチャー企業などとのシナジーによって、これまでにないイノベーションの創出が可能となります。私たちの働き方改革は、「改革」から「改善」という集大成のフェーズに移行していきます。

企業文化を醸成し、世界規模の課題解決に貢献

セガサミーグループは2018年8月、グループのブランドロゴをリニューアルしました。すべての文字がつながった新しいロゴと本社機能集約によって、グループとして概念的にも物理的にも強固な一体感が生まれ、持続的な成長と企業価値の拡大実現を目指します。また、それぞれの事業会社の文化を融合して「セガサミーグループの文化」を醸成していきます。

国連による「持続可能な開発目標（SDGs）」の採択以降、企業には自社の成長だけでなく、本業を通じた様々な社会課題解決による持続可能な社会への貢献が求められています。こうした要請に応えることは、エンタテインメントを通じて人々の暮らしを豊かにするというグループの経営理念とも合致します。

我々の本業であるエンタテインメントの本質は、製品やサービスの提供でなく、お客さまの期待を良い意味で裏切る“感動体験”の創出です。セガサミーグループは全社員一人ひとりが結束し、これからもその本質を追求するという目標に向かって力強く進んでいきます。



エンタメで社会をポジティブにする 「Playbit」

<https://playbit.jp>

日常生活で生じるネガティブな感情を、総合エンタテインメント企業ならではのやりかたでポジティブなものに変え、感動体験を生み出したい。そんな想いから生まれたのが、セガゲームスが提供するゲームなどのエンタテインメントに特化したポイントサービス「Playbit(プレイビット)」です。

日常を、ちょっと豊かに

Playbitに登録したユーザーは、非ゲーム企業である提携パートナーが設定した条件を達成すると、ポイントを獲得できます。獲得ポイントは、セガサミーグループのスマホゲームなどのコンテンツで利用できるポイントとの交換はもちろん、提携パートナーのポイントとの相互交換もできます。

提携パートナーの一つである東京急行電鉄株式会社(東急)は、通勤通学時間の混雑解消を目的に乗客にクーポン

サービスを提供しています。そのサービスにPlaybitを導

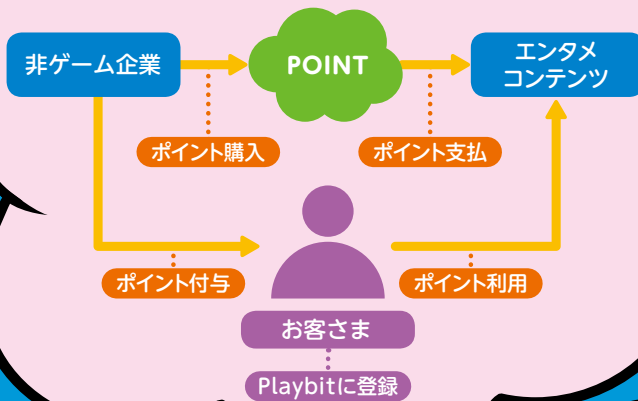
入し、オフピーク通勤をした乗客に配布す

るクーポンとPlaybitポイントを交換できるようにしまし

た。ユーザーは、混雑していない電車内でPlaybitポイントを利用してスマホゲームのアイテムを手に入れ、ゲームを楽しむことができ、東急も混雑緩和につなげることができました。ほかには、提携パートナーである講談社の漫画も読むことができ、日常が「ちょっと豊か」なものになります。

何気ない日常の行動の一つひとつをエンタテインメントに生まれ変わらせることで、生活にほんの少しの潤いを加えてくれる仕組みがPlaybitです。現在、15社ほどの会社・団体とパートナー契約を結んでいます。

Playbitの基本的な仕組みとは?



Playbit提携パートナーの一例

おもしろくて、ためになる

講談社 Sammy Networks



SoftBank



提携パートナーの声

東京急行電鉄株式会社様



早朝通勤でゲームのポイントが貯まる

オフピーク通勤をご利用いただいたお客さまにプレゼントする「グッチョイクーポン」の一つに「Playbit」が新たに加わったことで、「鉄道を早朝利用するとゲームで遊べる」という今までにないコンテンツを提供できるようになりました。これによって、より幅広いお客さまからご利用いただける施策となりました。

オフピーク通勤で
スマホゲームの
アイテムが手に入る



エンタメには
無限のポテンシャル
がある!!



株式会社セガゲームス
ゲーム&デジタルサービス統括本部
DMS統括部 ソリューションビジネス1部 副部長
伊藤 真人 (Ito, Manato)

エンタメが当たり前にある社会に

生活の中でネガティブな感情になる場面は多く存在します。満員電車もそうですし、行列に並ぶことや普段の家事がストレスに感じる方もいらっしゃるかもしれません。セガサミーグループはこれまで、遊技機やゲーム、リゾートなどの事業を通じてユーザーに楽しんでもらうことがメインでしたが、Playbitは私が入社以来ずっと抱いていた「エンタテインメントが持つ無限のポテンシャルで日常生活を豊かにしたい」という想いが根底にある事業です。

世の中には様々なポイントプログラムがありますが、買い物をしてポイントが貯まるという経済的なメリットよりも、Playbitを利用して、自分たちの生活がちょっとだけよくなった、幸せな気持ちになったという感動体験を生み出すことが、セガサミーグループのポイントプログラムを提供する意義だと考えています。

これまで試行錯誤の連続でしたが、チームメンバーが日常生活にもっとエンタメを広めていきたいという気持ちで成果を積み重ねてきた結果、Playbitの仕組みを確立し、運用にまで至りました。当面は、エンタテインメントで日常を豊かにするというビジョンに共感してくれるポイントの提供先と利用先をそれぞれ100社以上に増やすことが目標です。

そしてその先に、エンタテインメントが当たり前のように日々の生活に溶け込んでいる社会を作っていくことが総合エンタテインメント企業としてのセガサミーグループの使命だと考えています。



Playbitにかかわるメンバー

笑顔😊 元気😊 を届ける!

セガサミーグループの 復興支援活動

活動アラカルト (2011年3月～2018年3月まで)⇒2018年度活動継続

● 支援金	約4億円	● 応援イベント	回数 計42回 来場者数 のべ29,891名 <small>(セガサミーグループコーナー遊技者数)</small>
● 社員ボランティア活動	回数 計54回 参加人数 のべ634名	● 施設(東京ジョイボリス)招待	回数 計24回 招待者数 のべ625名

東日本大震災発生直後から、セガサミーグループは様々なかたちで継続的に被災地支援を行ってきました。変わりゆく被災地の支援ニーズにエンタテインメントの力で応えるべく、これからも感動体験を届ける活動を続けていきます。



被災地応援イベント&社員ボランティア



2017年度は宮城県南三陸町、東松島市、女川町、七ヶ浜町、福島県飯舘村にて、復興住宅での談話会(お茶っこ)やイベント出店を実施。イベントでは、「スマートボール」「キラデコシールアート」「え〜でる すなば」「ダーツ」「フラッシュパッド」「UFOキャッチャー」「パンダコパンダ」などセガサミーグループのリソースを活用したコーナーのほか、社員による「創作綿あめ」や「クラフトスマートボール作り教室」を用意し、多くの方に楽しんでいただきました。また10月には、元千葉ロッテ・横浜DeNA投手の清水直行氏を迎え、七ヶ浜町内の中学野球部の生徒を対象に「セガサミーグループ野球教室」を実施、11月にはリオ五輪競泳メダリスト松田丈志氏とともに「水泳教室」を七ヶ浜町、東松島市にて開催しました。



【飯舘村 新春村民のつどい】

株式会社サミーネットワークス 総務部

古谷 伴彦 (Furuya, Tomohiko)

今回は初めての福島県飯舘村、内陸の放射能被害エリアへの訪問でした。2017年3月31日に避難指示が解除された地域ですが、村内は汚染土壌にビニールシートをかぶせ保管している畑や田んぼなど、非日常的な風景が広がっていました。そんな飯舘村の「新春村民のつどい」というイベントのお手伝いでした。Flash Padに夢中になって自身の記録更新に挑む方が多数見受けられました。当日は多くのお客さまにご来場いただき、お楽しみいただけと思います。またイベント以外でもグループ内の皆さまとの交流や思われ人との再会など非常に刺激を受けた濃厚な2日間でした。こういった機会を利用して被災地の現状を確認し肌で感じる事が非常に大切だと思います。



【おながわ秋刀魚収穫祭2017】セガサミークリエイション 株式会社 管理部
梅垣 陽 (Umegaki, Noboru)

女川町は津波の被害が最も大きかった地域で、石巻線の復旧に4年もかかったそうです。収穫祭の会場となった女川駅前も温泉施設のある新しい女川駅と海に向かって伸びる歩道がある美しい街並みになっていました。天候にも恵まれて朝から多くの来場者があり、セガサミーのブースにも多くの方々に来ていただきました。今回スマートボールの担当は初めてだったため、ゲームを盛り上げられるかという不安もありましたが、担当の方々と協力して楽しんで参加することができました。子どもたちの真剣にゲームをする表情や大喜ぶる表情などに接して、改めて「遊び」を提供することの素晴らしさを感じました。

社外 VOICE

一面を埋め尽くすがれき。あの大震災から7年が過ぎました。海岸には、七ヶ浜らしい美しさにとぎわいが戻ってきています。2017年夏、東北最古の菖蒲田海水浴場が本格再開。記念の花火大会は、町民の笑顔が溢れました。水面に映る花火は、心に打ち、響くものですね。皆さんに感謝いたします。

七ヶ浜町は、東北一小さな面積。だからこそ、住民の思いに寄り添う復興を目指してきました。励みは、何といっても子どもたちの笑顔。被災地応援イベントは、希望の光が射す場となっています。新人社員研修での復興まちづくりの提案には、いつも勇気をいただいています。勝手ながら、皆さんは同志だと思っています。このまちが新しく生まれる姿を、ともに!



宮城県七ヶ浜町 政策課長
荻野 繁樹氏(Ogino, Shigeki)

【セガサミーグループ野球教室with清水直行】
株式会社セガホールディングス
コーポレート本部 人事部
山崎 福之 (Yamasaki,Fukuyuki)

私は、セガサミー野球部OBとして、初めて参加させていただきました。子どもたちに「高校へ行っても野球を続けたい?」と質問したところ、「プロに行きたい!」や「甲子園に出たい!」といった返答を想像していましたが、「中学で辞めるつもり」という子どもたちが意外に多く、非常に寂しい気持ちになりました。野球をする場所が無かったり、そもそも野球の楽しさを知らなかったり、経済的に野球を続けるのは厳しい家庭であったり…など、理由は様々だと思います。私の使命は、野球の楽しさや魅力を少しでも子どもたちに伝えることだと強く感じました。



【メリークリスマス in 東松島2017】
サミー株式会社 製造本部
製造管理部
加藤 哲二 (Kato,Tetsuji)

今回、初めてボランティアに参加させていただき、私たちのエンタテインメントの力が被災された方々の心の復興の一助となればとの思いで取り組みました。来訪されるお客さまは、その瞬間とも思える数分の遊技のために長時間待たれていることを思うと、お一人お一人との出会いが大事な一期一会であり、絶対に不快な思いをさせてはいけなくて心に留めながら対応させていただきました。また、各グループ会社の皆さまとの交流も大変貴重な機会となりました。この活動の継続性こそが、人との出会いやつながりに価値を生み、かつ財産となっているのだということを実感しました。

【南三陸町歌津復興夏まつり2017】
サミー株式会社 生産企画本部リユース推進部
中野 悠衣 (Nakano,Yui)

セガサミーのブースは大人気で、欲しい景品が取れるまで何度も並んで挑戦してくれる子どもたち、泣いて欲しいが子どものために慣れないゲームに真剣になるお母さん、泣いたり笑ったり喜んだりといろいろなドラマがありました。一喜一憂をともし、「ありがとう」を伝え合えたことがとても心に残っています。人に喜びを与え、楽しさを共有し、損得なしで人と向き合える。ボランティアにはそんな素晴らしさがあると思います。今後も様々なボランティア活動に参加していきたいです。



【七ヶ浜町生涯学習フェスティバル2018】
株式会社セガ・インタラクティブ
第一研究開発本部
岩崎 吾郎 (Iwasaki, Goro)

七ヶ浜のイベントは今回で7回目。お客さまの中には毎回ご参加いただいている方が多く、イベントを同じ場所で継続することで得られたセガサミーへの期待と信頼を強く感じる事ができました。

大崎への本社機能集約を進める今、こういった活動は会社の枠を超えて共通の目的を達成する良い機会になります。グループ社員間のコミュニケーション推進の意味でも、多くの社員に参加を勧めたいと思います。きっとかけがえのない経験になると思います。



【セガサミーグループ水泳教室with松田丈志】
サミー株式会社 法務部
西澤 俊輔 (Nishizawa, Shunsuke)

教室の最後で松田丈志氏が力強く語った「大きな舞台上で活躍できる選手は総じて“周りから応援される”人物。周りから支えようと思われの人になろう。同時に支えてくれる周りへの感謝の気持ちを忘れずに」というお話は、仕事や子育てなどいろいろな局面で活かしていこうと思いました。

水泳少年だった自分にとって、オリンピック4大会連続出場、3大会連続メダリストと同じプールで過ごした2日間は、サッカー少年にとってメッシ、ロナウドと同じピッチに立てたかのような感動体験でした!



【東松島夏まつり2017】
株式会社セガ エンタテインメント
運営本部 商品企画部
望月 学 (Mochizuki, Manabu)

私はUFOキャッチャー運営を行いました。店舗での運営よりもアクションを大きくした設定にしたため、多くの方々が多回数のプレイをされ、笑顔で景品を獲得されていきました。バランスよく持ち上げて景品獲得という方もおり、「うまく狙えたね、スゴイね」と話しかけると、満面の笑みで返してくれました。このようなイベントは、お客さまに楽しんでいただくという原点を再認識できる場でもあります。多くのお子さまやご家族に参加していただき、地域の方々と一緒に楽しんでいただきたいと思います。

☺ 2018年度新入社員研修 ☺

グループ新入社員研修の一環として、2018年度は133名の新入社員が被災地(宮城県女川町、七ヶ浜町、東松島市)を訪問。ビーチクリーンなどの支援活動だけでなく、幼稚園児との交流や現地観光課への復興施策プレゼンなど、地域の皆さまとの交流も行いました。



被災については現地で抱いた感情がすべてであると感じました。これから創っていく、提供していくサービスが誰にどのようなものをもたらすのかについて深く考える機会が多かったように思います。

娯楽は衣食住とは違って人間が生きていくために必要なものではありませんが、人間が日常を取り戻し、明るさを持って生きていくためには欠かせないものだと思います。楽しい時間やほかのことを忘れて夢中になれるものを提供することが、日常の「心の復興」につながると感じました。

株式会社
セガ エンタテインメント
大場 夏来
(Oba, Natsuko)



株式会社
セガトイズ
金子 貴裕
(Kaneko, Takahiro)

同じ日本でこんな大変なことが起きているんだと体で感じる事ができました。津波が来たところは、家と道路が新しくなっていて、山はある一定の高さで色が変わっているのが大変ショッキングでした。今回のような新人研修を行うのはもちろんのこと、被災地の方がより笑顔になれるようなエンタテインメントの発信をしていくことが一番の支援活動ではないかと思います。ご講話をいただいた町長さんが楽しそうにパチンコの話をしているのを見て、改めてその人の楽しみを創り出すような仕事を頑張りたいと思いました。

「被災地研修」と「開発」の間に、最初はどうのような結びつきがあるか分かりませんでした。しかし、どちらも根幹には人の存在があると知りました。この研修を通じて自分が知らなかった人や思い、人に対してどのようなアプローチを取るべきかといったことを学び、考える機会となりました。私たちはエンタテインメントの企業であるため、被災された方々の生活に何か「楽しみ」を加えることができれば、と考えさせられました。以前、ゲームのイベントが宮城県で開催されたと聞き、そちらに関連したものをより重点的に行いたく思いました。

株式会社
セガゲームス
佐々木 智広
(Sasaki, Tomohiro)



マネジメント

セガサミーグループの理念体系

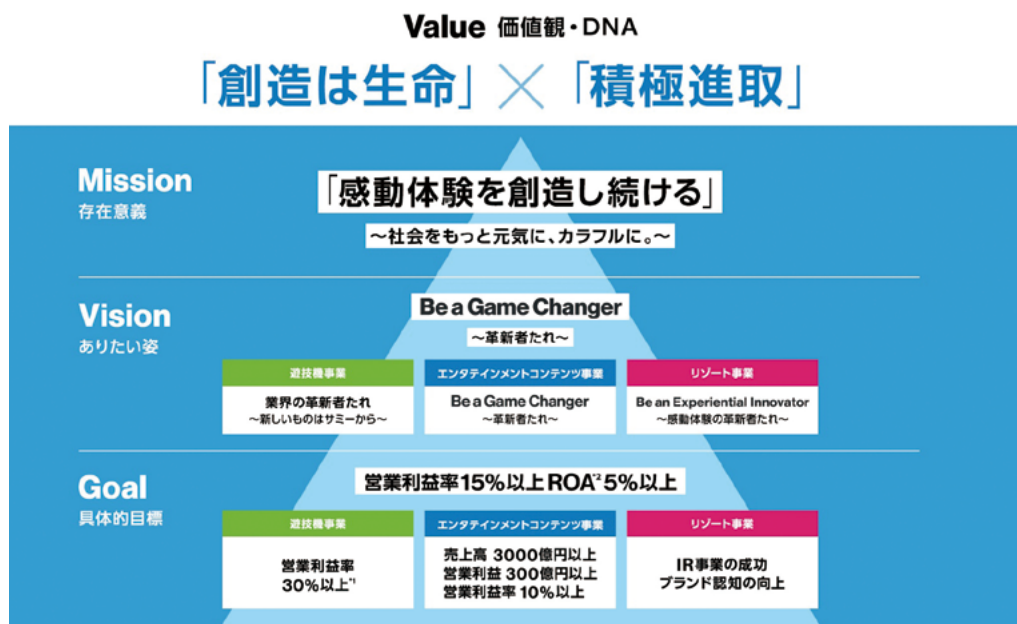
セガサミーグループは、オリジナリティ溢れるエンタテインメントを通じて感動体験をご提供するという考えのもと、国際社会の一員であることを強く意識し、様々なステークホルダーとコミュニケーションを図りながら、「良き企業市民」として社会からの倫理的・公共的な期待に応え、社会の持続可能な発展に寄与する価値の提供に取り組んでいます。また、事業活動に留まらず、芸術・スポーツなどの文化の発展支援など、グループ全体で様々な社会活動を継続的に実施し、社会をもっと元気にカラフルにすることで、「豊かな社会の実現」と「文化の創造」を目指します。

2017年にはグループミッションを策定し、その浸透を図るためグループおよびグループ各社のミッションピラミッドを策定しました。ミッションピラミッドは、ミッション(使命・存在意義)、ビジョン(ありたい姿)、ゴール(中長期目標)からなり、最終的には各事業部門や社員個人の目標までリンクすることで、異なる事業・業務環境のもとでもベクトルを合わせ、一体となって持続的な成長を行う道標となるものです。

グループミッション 感動体験を創造し続ける ～社会をもっと元気に、カラフルに。～

「創造は生命(いのち)」、「積極進取」という価値観を共有しつつ、常に革新者として世界中のあらゆる人々に感動体験を提供し続けます。社会をもっと元気に、カラフルにすることで豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。

グループミッションピラミッド



*1 遊技機事業の「その他/消去等」を除いた営業利益率 *2 ROA(%) = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 総資産

グループCSR憲章 <https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/>

グループ行動規範 https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_csr/

グループ・マネジメントポリシー https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_policy/

グループ・ガイドライン https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr/20141101_supplychain_csr.pdf

「危機管理」「ITセキュリティ」「クラウドサービス利用」「SNS利用」「海外贈収贈禁止」に関する各ガイドラインを定めています。なお、CSR調達に関してはガイドブックとして開示しています。

セガサミーグループのCSR

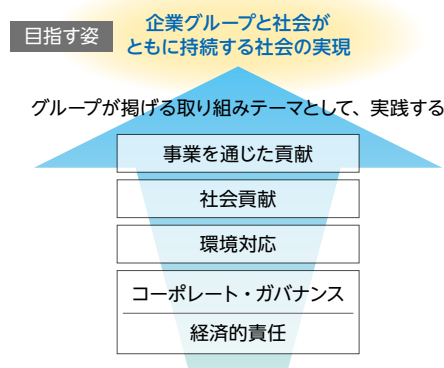
セガサミーグループは、CSR活動を当社グループの持続的価値創造と社会の持続的発展の双方を実現するための重要な活動と捉えています。

グループCSR取り組みテーマ

2012年に、グループで取り組むCSRのテーマとして、「事業を通じた貢献」、「社会貢献」、「環境対応」、「コーポレート・ガバナンス／経済的責任」の4つを設定しました。セガサミーホールディングスの取締役会で承認されたこの4テーマについて、事業会社ごとに進捗管理を行っています。(主な取り組み内容についてはP.14をご参照ください。)

また、これまでのグループの活動を再認識し、社員へのさらなるCSRマインドの浸透と、グループ全体におけるCSR活動をどのように推進していくかを表す「CSR推進方針」を提示しています。

 **CSR推進方針**
<https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/tpm.html>



CSR推進体制

セガサミーホールディングスにグループCSR推進室を設け、グループのCSR活動を統括・管理しています。

グループでの活動推進のため、ホールディングスのCSR推進室長を議長としグループ会社のCSR責任者が参加する「グループCSR事務局会議」を設けています。CSR活動に関する施策の計画・実行・評価・改善(PDCAサイクル)などを行うため、原則として年に1回開催しています。CSR活動の状況については、グループ全社の役員およびセガとサミーの部長以上にCSRレポートを印刷・配布し、活動状況を共有するとともに(2018年よりCSR BOOKLETはWEB開示のみ)、CSR COMMUNICATION REPORTに付属しているアンケート(約1,000件)の回答状況(経営理念、行動規範の浸透確認含む)をセガサミーホールディングス取締役会にて報告しています。

ステークホルダーとのかかわり

セガサミーグループの事業活動は、5つのステークホルダー(「お客さま」、「お取引先」、「株主・投資家」、「社員」、「社会(社会貢献と環境)」)とのかかわりの中で成り立っています。ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、信頼関係を深めながら、ご意見やニーズを事業活動に反映することに努めています。

ステークホルダー	主なコミュニケーション機会	主な責任
お客さま	営業活動 / サポート窓口 / 店舗・施設での接客	安心・安全かつ高品質な製品・サービスの提供
お取引先	調達活動 / 説明会 / サプライヤーミーティング / 相談窓口	公平・公正な取引 / 連携強化 / お取引先へのCSRの要請
株主・投資家	各種報告書の発行 / WEBサイト / IR活動	情報開示 / 経営の安定と成長 / 適正な利益還元
社員	社内イントラ / 相談窓口 / 満足度調査 / 労使協議会	職場環境整備 / 公正な評価と成長機会 / 人権と多様性の尊重
社会	WEBサイト / 地域との交流 / 社会貢献活動	本業の繁栄 / 環境経営 / 社会との連携 / 社会貢献活動

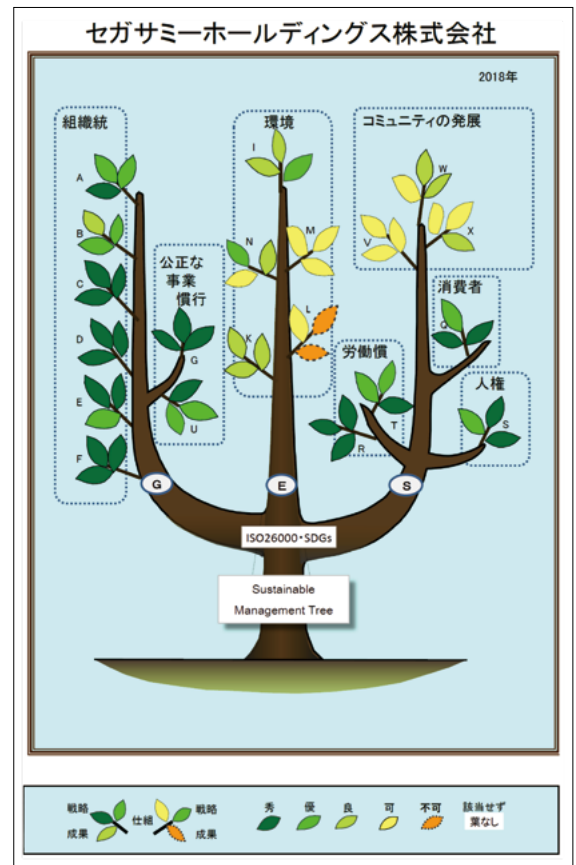
環境経営学会による経営評価および専門家によるステークホルダーダイアログ

2017年に引き続き、認定特定非営利活動法人環境経営学会 経営診断推進委員会によるサステイナブル経営診断を受けました。診断の結果、評価の平均評点獲得率は75.7%、コンプライアンスに関しては95%を超える高得点率になりました(経営、人権、労働慣行、環境、事業慣行、消費者、コミュニティ)。なお、2017年4月27日には、経営、人権、環境など各分野の専門家である評価委員の方々とCSRの取り組みについてのステークホルダーダイアログを開催しております。その際に弊社CSR推進室長より回答したように、『ミッションピラミッド』を活用したグループ全体から各事業、各社、各現場へミッションや理念の浸透活動により組織統治分野はさらに改善されました。また『働き方改革』、『オフィス集約による環境改善、機能強化』を実施したことで、労働慣行分野、CSR調達の推進により事業慣行の改善が進展しました。

今後も外部評価などをセガサミーグループCSRの取り組み改善活動に役立てていきます。



ステークホルダーダイアログの様子



結果ツリー図

国連「グローバル・コンパクト」への参画

セガサミーグループは、2014年4月、「国連グローバル・コンパクト」(以下、UNGC)への支持を表明し、署名しました。UNGCとは「各企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会のよき一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組み」です。私たちはUNGCが掲げる10原則に基づき責任ある経営を推進することによって、持続可能な社会づくりに貢献していきます。また、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(以下、GCNJ)内に組織されている、サプライチェーン、WEPs、ESG研究分科会などの活動に参加し、他社との情報共有を行うほか、GCNJの活動に貢献し、社会の課題解決に向けて積極的に取り組んでいます。

国連「グローバル・コンパクト」項目と10原則		当社グループCSRブックレット	関連ページ
人権	原則1：人権擁護の支持と尊重 原則2：人権侵害への非加担	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、CSR お取引先とともに：公平・公正な購買のために 社員とともに：人権の尊重	P.10-14 P.27-28 P.33
労働	原則3：結社の自由と団体交渉権の承認 原則4：強制労働の排除 原則5：児童労働の実効的な廃止 原則6：雇用と職業の差別撤廃	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、CSR お取引先とともに：公平・公正な購買のために、お取引先とのパートナーシップ 社員とともに：人財の育成と評価、多様性の推進、人権の尊重、働きやすい職場環境の整備	P.10-14 P.27-28 P.33-36
環境	原則7：環境問題の予防的アプローチ 原則8：環境に対する責任のイニシアティブ 原則9：環境にやさしい技術の開発と普及	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、CSR 社会とともに【環境】：シーガイアピーチクリーンinーツ葉、グリーン電力証書システムの導入、製品の環境配慮設計、10年目を迎えた森林の里親活動～「セガの森」～、みんなで創ろうーツ葉の森林	P.10-14 P.39-42
腐敗防止	原則10：強要や贈賄賂を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、CSR マネジメント：コンプライアンス お取引先とともに：公平・公正な購買のために	P.10-14 P.15-16 P.27-28

CSR推進活動

▶ 意識の醸成

セガサミーグループでは、社員一人ひとりがCSR憲章を理解し、その精神に基づいたグループ行動規範に沿って行動してこそ、当社グループが掲げる「グループミッション」を実現できると考えています。セガサミーホールディングスのグループCSR推進室では、グループすべての社員を対象にCSR活動の重要性や取り組む意義を伝えながら、それぞれの理解度に合わせた各種研修をはじめとした浸透策を企画し、実行しています。

また、本レポートを社員向けに編集したCSR COMMUNICATION REPORTを全社員に配布し、CSR意識の浸透とグループ一体感の醸成を行うとともに、ポスターを掲示して社内の意識向上に努めています。



全社員に配布している
CSR COMMUNICATION
REPORT

▶ CSR研修

2013年10月から、グループ企業のマネジメント層並びに一般層向けにCSR研修を実施しています。2017年度は14社から934名が受講し、2013年度からの総受講者数は2,431名となりました。外部講師による講義やグループワークを通じて、社会や事業環境の変化を考え、「社会と企業の共生」や「企業の持続的成長・発展」についての理解と参加者同士のコミュニケーションを深めました。修了時には、受講者全員が「CSR推進宣言」を提出し、セガサミーグループの一員としての存在意義を再確認する機会を設けております。今後も「社会から期待され、信頼され、尊敬される企業、そして社員が誇れるグループ企業になるためにやるべきこと」を社員一人ひとりが意識して行動できるように、研修を継続していきます。



CSR研修のグループワーク

▶ セガサミーホールディングス会長とグループ社員の意見交換会

各現場の活動成果や課題などを共有し、今後のCSR活動の方向性について議論することを目的に、セガサミーホールディングス会長とグループ社員の意見交換会を年に1回実施しています。グループ各社のCSR推進担当者や、各社が注力するプロジェクトや人事の責任者などが参加し、活発な意見交換が行われます。日常業務では接する機会が無い部門や社員同士が経営トップと一つのテーブルを囲むことで、グループ間コミュニケーションの活性化に大いに役立っています。2018年度は3社、5名が参加しました。



経営トップとグループ社員が事業やCSRについて語り合う意見交換会

テーマ別課題と2017年度進捗状況および2018年度の取り組みおよびSDGsとの関連性について

グループが掲げる4つの取り組みテーマに対し、課題を設定し、活動の進捗・実績の管理を行っています。2017年度は、ミッションピラミッドを活用したグループ各社および全社員の意識改革推進や働き方改革の取り組みを始めました。2018年度は、Road to 2020に邁進するとともに、グループシナジーの一層の拡大と効率化を目指し、2018年8月のオフィス統合および働き方改革の推進を行います。社員の多様な働き方が可能となり、環境面も考慮した効率的なオフィス環境を整えることで、グループの中長期的成長やステークホルダーの皆さまの期待に応えていきます。

グループの活動としては、SDGsの13項目の目標に貢献しています。今後はさらに3つのテーマ「働きがい・不平等(ダイバーシティ)」「超高齢化社会」「依存症問題」を中心にSDGsの観点を踏まえ、グループとして貢献できるものを特定し、具体的な行動計画に落とし込んでいきます。

セガサミーグループのSDGsへの貢献

2015年9月に国連サミットで、人間、地球および繁栄のための行動計画として17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」が設定されました。世界中でSDGsの達成に向けた取り組みが行われており、企業にも主体的な関与が期待されています。セガサミーグループは、事業活動を通じてグローバルな社会課題の解決に貢献していきます。



▶ セガサミーグループ「4つの取り組みテーマ」の主な課題と活動実績

※略称は、P.1参照

取り組みテーマ	課題	取り組み	2017年度の進捗・実績	主な掲載ページ	関連するSDGs
事業を通じた貢献	安心・安全で楽しい製品・サービスの提供	製品やサービスの安心・安全の提供、並びに適正な情報開示	<ul style="list-style-type: none"> 対象各国の法令、業界基準等に則し、それを上回る自主基準の設置、製品表示などによる情報開示を含む品質保証【E、遊、TOYS】 青少年保護対策【SE】 正確で適切な製品表示【E、遊、TOYS】 	P.22-24	—
		サポート体制のさらなる充実	<ul style="list-style-type: none"> お客さまサポート体制の充実【E、遊、TOYS】 		
		業界団体標準等に準拠した安全基準の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 業界団体の基準等に準拠した安全基準【E、遊、TOYS】 業界団体を通じた適度な遊技環境の推進【遊、SE】 		
	不正防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 不正防止【遊】 			
事業を活かした社会課題の解決	グループコンテンツを活かしたイベント・製品の提供	<ul style="list-style-type: none"> ショールームを定期的な高齢者へ開放(16回、62名)【遊】 NPOとの協働で玩具を寄贈【SSHD、TOYS】 ゲーム出前教室【SHD】 共遊玩具の開発・製造・販売【TOYS】 出張ゲーム教室、ドライブシミュレーター【SLS】 	P.44	3 4 8	
社会貢献	災害復旧・復興支援活動やグループ全体の活動を通じた社会貢献	東日本大震災復興	<ul style="list-style-type: none"> グループ社員ボランティアを被災地へ派遣(8回、79名)【グループ】 グループ新入社員研修の一環として被災地へ派遣(11社、133名)【グループ】 コンテンツを活かした被災地復興支援イベントを開催(6回)【SSHD、E、遊、TOYS、TMS、SE、SLS、DL】 	P.7-9	11
		その他グループ全体での社会貢献および文化等への発展支援	<ul style="list-style-type: none"> 「TOKYO JAZZ」など芸術活動への協賛【SSHD】 「絵本を届ける運動」(422冊)(発展途上国のエンタテインメント環境整備)【グループ】 玩具寄贈など【SSHD、TOYS】 	P.44-46	4 10
		地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 「ジュニアスポーツフェスティバル」並びに野球教室の開催【SSHD】 マラソン大会協賛【遊】、街並み清掃活動【SHD】 		
	環境配慮型製品開発・販売の推進	<ul style="list-style-type: none"> 低消費電力製品の開発・提供点数の増加【E】 エコパチンコの開発、製品化への展開【遊】 	P.28 P.39-42	3 7 9 12 13	
3R(特にリサイクル)の推進	<ul style="list-style-type: none"> 下取機リサイクル95.99%達成【遊】 廃棄物有価リサイクル(川越工場勤務者による分別活動)の実施【遊】 AM(アミューズメント)機器の手分解による100%リサイクルを実施【SLS】 				
その他環境保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 年次サプライヤーミーティングでの環境規制等の情報を配信【E】 				
地球環境資源への配慮	環境施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> グリーン電力証書の購入(100万kWh実績/年)【SHD】 横浜市風力発電事業[Y(ヨコハマ)-グリーンパートナー]への協賛(グリーン電力証書2017年実績:139,258kWh)【SHD】 主要グループ会社15社の環境負荷数値把握体制の整備【SSHD】 森林里親契約「セガの森」整備によるCO₂吸収量が長野県から評価【SHD】 シーガイア敷地内の黒松(250m)の管理・保護・育成【PSR】 	P.39-42	11 14 15	
コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none"> ガバナンスコード対応、独立諮問委員会・経営戦略委員会運営、SSHD役員研修等【SSHD】 経営理念、行動規範の浸透状況を取締役に報告【SSHD】 働き方改革推進【グループ】 	統合報告書参照	5 8 10 15	
	コーポレート・ガバナンスおよびコンプライアンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> グループ役員コンプライアンス研修(5回、137名)【グループ】 各種コンプライアンス研修(86回、1,824名)【グループ】 企業倫理ホットラインの設置による使いやすい通報制度の構築【グループ】 個別テーマ研修(74回、4,425名)【グループ】 新入社員向け研修(15回、377名)【グループ】 	P.15-16	16	
CSR意識浸透・CSR経営の推進	経営者からの継続的なメッセージ発信によるグループ経営理念の浸透	<ul style="list-style-type: none"> グループマネジメント層向けCSR研修の実施(20回、12社、546名)【SSHD】 グループ経営理念をグループイントラネットに掲示、社員手帳冊子にも掲載し社員啓発を促進【グループ】 CSRレポートダイジェスト版を発行しグループ正社員、アルバイト等9,732冊を配布【グループ】 	P.11-13	—	
		<ul style="list-style-type: none"> 経営トップから、社会情勢や事業発表とともに、現実に即した形で社員に分かりやすく経営理念の意味と実践についてメッセージを配信(年3回)【グループ】 「国連グローバル・コンパクト」への参画【グループ】 			
	CSR情報の把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> 社会の動静を察知し、リスク感度を高める目的でグループ会社へのCSR担当者向け情報媒体(新聞、雑誌等)を通じたCSR情報の収集とグループ各社への提供(随時)【SSHD】 			

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスについては、当社グループ統合報告書をご参照ください。



コーポレート・ガバナンス

<https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/corp/governance/>

コンプライアンス

基本的な考え方

セガサミーグループは、「グループ行動規範」および「グループ・マネジメントポリシー」に基づき、一人ひとりがコンプライアンスを意識した適切な行動を取るために、様々な取り組みを行っています。

コンプライアンス推進体制

▶ 推進体制の概要と強化

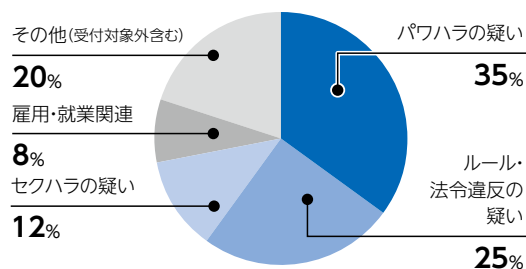
セガサミーホールディングスのグループ内部統制室長が議長を務め、年2回開催される「グループ・コンプライアンス連絡会議」（主要グループ会社のコンプライアンス推進部門管掌役員・部長、監査役が出席）のもと、法令・社会規範を遵守した健全な企業経営を展開するための社内体制構築を図っています。

▶ 内部通報制度

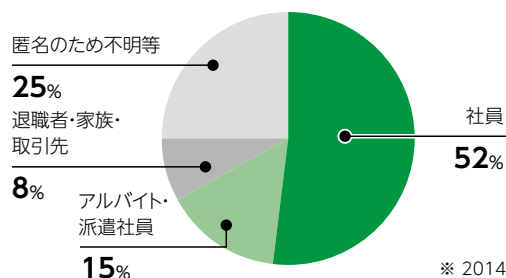
グループ内での自浄機能を生かして、法令違反や不正行為などを未然に防ぐため、内部通報に関する制度（内部通報制度）を制定しています。グループ各社および社外の法律事務所に通報窓口（企業倫理ホットライン）を設置し、通報事項に関する調査、是正措置、再発防止の実施、通報者の保護制度を設け、社内イントラネット並びにポスター掲示により全社員に周知しています。また、2017年3月より海外にも内部通報制度を拡充しました。

通報制度の実績は、2015年度：9件、2016年度：16件、2017年度：19件でした（国内のみ）。また2014年度～2017年度の通報内容の内訳と通報者の属性は以下の通りです。

▶ 通報内容の内訳*



▶ 通報者の属性*



※ 2014～2017年度

コンプライアンス推進活動

▶ ルールの徹底と意識強化

コンプライアンス意識の醸成と浸透を図るため、グループ各社向け階層別研修を実施しています。遭遇しそうな具体例を編集した「コンプライアンスハンドブック」、漫画を使って分かりやすくした関連記事などを全社員が閲覧できるイントラネットに掲載しています。

▶ グループ各社における主なコンプライアンス研修実績（2017年度）

種類	対象	会社名	回数	人数（のべ）
役員コンプライアンス研修	グループ全社の会社役員、監査役、執行役員	SSHD、SHD、SAMMY、SNW、TMSほか	5回	137名
新入社員研修	グループ10社の新入社員	SHD、SAMMY、SGC、SLS、TOYSほか	15回	377名
各種コンプライアンス研修	グループ会社役員、全社員	SHD、SAMMY、SIC、DL、PSRほか	86回	1,824名
個別テーマ研修 （働き方改革、労務管理、知財、下請法、風営法、法務、開発契約、ほか）	グループ会社役員、全社員（研修内容により異なる）	SHD、SAMMY、SGC、SNW、JMSほか	74回	4,425名

※ 略称は、P.1参照

※ e-ラーニングでの受講人数も含む

▶ 反社会的勢力の排除

セガサミーグループは、反社会的勢力による経営への関与の防止のために、グループ行動規範に反社会的勢力との一切の関係を排除する旨を明記するとともに、お取引先との契約書へのいわゆる暴排条項の組み込み、お取引先が反社会的勢力に該当するか否かのチェックシステムをグループとして導入しています。反社会的勢力からの接触を受けた際は、適宜に警察・弁護士などを含め外部機関と連携して組織的に対処します。

▶ 腐敗防止

「グループ行動規範」において、(1) 贈賄をはじめ利益供与、便宜供与とみられるあらゆる腐敗を防止すべきこと(2) 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、関係法令に基づき定めた社内ルールを遵守して、公明正大に行うべきことを明記し、2014年7月には「グループ行動規範」をより具体的に示す「グループ・マネジメントポリシー」を制定しました。また、「海外贈収賄禁止に関する方針」については、リスク分析の上、関連部門への研修、定期的な確認メールの配信などを実施しています。

リスク・マネジメント

基本的な考え方

セガサミーグループは、「グループ・リスクマネジメントに関する方針」に基づき、事業の推進および企業価値の維持・向上を妨げる重大なリスクに対し、平時より対策を検討し、損失を最小化する体制を構築することで、様々なステークホルダーへの影響を極力小さくするよう最大限の努力を行い、社会から強い信頼を得る企業を目指しています。

リスク・マネジメントの状況

▶ 危機管理

セガサミーグループでは、「グループ・リスクマネジメントに関する方針」のもと、「危機管理ガイドライン」を制定し、年1回主要17社のリスク分析を行い、SSHの取締役会で共有するとともに、潜在するリスクの低減および危機の未然防止に努め、重大な危機が発生した場合の即応体制を整備・維持しています。また、「首都直下地震における帰宅困難者対策のセガサミーグループ基本方針」を策定し、「備蓄品手配」、「建物設備の安全構築」、「安否確認の実施」、「帰宅ルール」についてグループ会社ごとに対応策を定め、イントラネットなどで全社員への周知を図っています。

▶ 知的財産の管理

セガサミーグループでは、知的財産を企業競争力を高める重要な要素かつ企業経営を支える経営資源と位置づけ、グループ会社ごとに方針を掲げて取り組んでいます。

エンタテインメントコンテンツ事業では、各部門に知的財産推進委員を置き、プロジェクトの現場責任者、担当者、新入社員に向けた研修・説明会などを通じて、継続的に知財意識啓発を行っています。また社内イントラネットを通じて知財情報の共有を推進することで、第三者の知的財産権侵害を未然に防ぐとともに自社の知的財産権の適切な管理を実施しています。

さらに知的財産権部が各部門と連携して事業戦略に即した知財戦略を策定・実行することにより、グループ全体で知的財産権を積極的かつ戦略的に取得活用していく取り組みが進められています。また、ブランドの維持・向上のために模倣品対策なども実施しています。遊技機事業では、研究開発の段階ごとに技術調査などを実施し、徹底したリスクアセスメントを行っています。

▶ 情報セキュリティ

セガサミーグループでは、お客さまの情報はじめ、経営情報や営業情報などすべての情報を重要な財産と捉え、「グループ情報管理に関する方針」、「グループITセキュリティに関する方針」、「グループ個人情報保護に関する方針」、「情報管理規程」などを定めています。また、グループ各社の担当者による情報共有の場を設け、グループ全体での取り組みを一層強化するための施策を話し合うなど、情報管理体制の強化に向けた取り組みを進めています。

個人情報については、「グループ個人情報保護に関する方針」に基づき各社で「プライバシーポリシー」を定め、お客さまの個人情報の適切な管理や運用に始まり、不正アクセスや紛失、改ざんおよび漏洩などを防止する対策を講じています。なお、セガグループのサービスが一つのIDで簡単・便利に楽しめる「SEGA ID」に関する個人情報はセガホールディングスの管理下にあり、同社はプライバシーマーク(Pマーク)を取得しています。

お客さまとともに

For Our Customers

グループCSR憲章

私たちは、いつの時代においても、
お客さまとともに歩みながら、感動体験を創造し続けます。

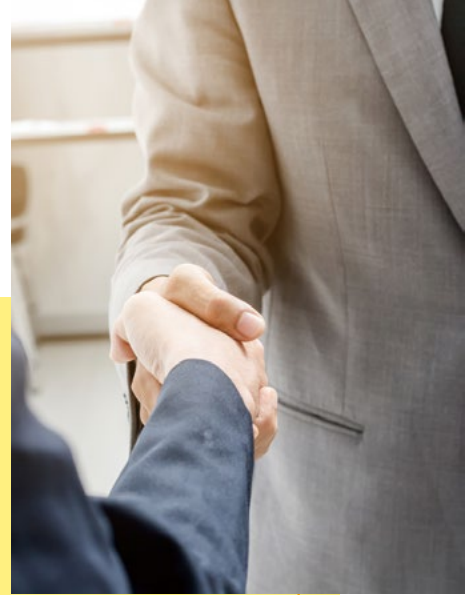
グループ行動規範

「安心・安全・高品質」「顧客の満足」「製品安全性の確保」

- (1) 常にお客さまの期待に応えられる、安心・安全かつ高品質な商品・サービスの提供に努めます。
- (2) 常にお客さまの声に耳を傾け、満足頂ける商品・サービスの提供に努めます。
- (3) 常にお客さまの目線に立ち、適正価格で、かつ迅速な商品・サービスの提供に努めます。
- (4) 常に市場に目を配り、時代の変化に敏感であり続け、技術向上・アイデア創出に努めます。
- (5) 自社の責任で製品設計を行う場合、製品が各国の法令等で定める安全基準を満たすよう努めます。

「適正な取引関係」「情報開示」「クレーム・通報」

- (6) お客さまとは常に適正な取引関係を保ちます。適正な利潤を損ねるような不当廉価販売、正常な商行為と認められないような行為は一切行いません。
- (7) セガサミーグループの企業活動・商品・サービスについて、お客さまのより一層の理解に役立つ情報を、積極的に開示します。
- (8) クレーム・トラブル・事故等については、内容を精査し、適切な対応を行います。



SEGA Holdings
株式会社セガホールディングス
社長室eスポーツ企画部 部長

SEGA Games
株式会社セガゲームス
国内アジア事業部eスポーツ推進室 室長
宮崎 浩幸 (Miyazaki, Hiroyuki)

1 多くの出会いをきっかけに、 eスポーツで未来を広げる

国内で最近急速に注目を集めているeスポーツ*は、セガサミーグループにとっては未知の分野です。そこで私たちは、まずは国内の認知度が極めて高い「ぶよぶよ」をツールに、少人数の組織で、プロゲーマーの認定や、賞金大会の開催、年間を通したリーグ運営などのチャレンジを始めました。驚くべきことに、4月のセガフェスで初めてのイベントを行ってから1ヶ月の間に、テレビ局、大型商業施設、運営会社、銀行、大学、芸能プロダクション、ネット流通企業などから、「なにか一緒にやれませんか」という引き合いが殺到しています。こういう刺激的な出会いをチャンスと捉えて、近い将来、セガサミーの有名IPあるいは新規のゲームなども有効活用し、グループの未来の選択肢を増やせたらと考えています。



* eスポーツ(esports) : 「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。世界的には、競技人口は1億人以上、賞金も総額1億円から27億円を超える大会も開催されている。(一部、一般社団法人日本eスポーツ連合より引用)

2

人とのつながりの素晴らしさをダーツで伝えたい！



株式会社ダーツライブ
プロモーション本部
東 なな (Azuma, Nana)

大学進学で上京し、新天地に慣れずに悩んでいたころダーツバーでアルバイトを始めました。それを機に、人とのつながりが生まれ、大学生活も有意義なものとなりました。入社後はデザインやライティング業務を経て、現在はイベント企画、運営に携わっています。「JAPAN」、「日本ダーツ祭り」、「U-22」などのイベントや大会では、お客さまと実際にふれあい、喜んだり悔しがったりと夢中になっている姿を見て、ダーツの素晴らしさを再確認しています。ダーツマシンという機械と向き合っているのに、人とつながることができる。コミュニケーションをとることで、もっとダーツが好きになっていただけたら嬉しいです。ネット社会になっている世の中だからこそ、新企画にチャレンジして、より多くのお客さまにリアルでのつながりの素晴らしさを伝えていきたいと思います。



アルパルク東京 ダーツブース

3

ゴルフ場の顔としてまた来たいと
思っていたくサービスを提供

フロントは、ザ・ノースカントリーゴルフクラブの顔です。ご来場されたお客さまが一番最初に立ち寄る場所で、ゴルフ場への第一印象を大きく左右する重要な役割を担っています。私たちは日々、お客さまのご希望に最大限応えられるようお客さまの立場に立って考え、一歩先を見据えたお声掛けを意識しています。

当ゴルフ場には、北海道のお客さまをはじめ、新千歳空港を利用される北海道以外からのお客さまも数多くご来場されます。特典付きプランでラウンドされ、無料ドリンク券を使うことができずに出発時間となってしまったご夫婦に



コースオリジナル商品をお渡ししたところ、「形にも残り良い記念になります!」と非常に喜んでいただけました。これからもお客さまとのコミュニケーションを第一に、また来たいと思っただけのように最善のサービスを提供していきたいです。



セガサミーゴルフ
エンタテインメント株式会社
運営部 フロント

小林 美月 (Kobayashi, Mizuki)

4

カジノマシンでもっとお客さまの笑顔を見たい！



セガサミークリエイション株式会社
開発本部 企画デザイン開発部
宮野 裕之 (Miyano, Hiroyuki)

現在、私たちのゲーミングマシンはマカオの複数のカジノに設置され、世界中のお客さまにプレーしていただいています。当時の社内にはアーケードゲームに関しては経験豊富なメンバーがそろっていましたが、カジノマシンに関しては経験が少なく、道のりは平坦ではありませんでした。そんな中でも勝ち負けの過程で生まれる楽しさにとことんこだわり、「More Fun! More Excitement!」なマシンを目指し開発に取り組みました。そのため、当社のマシンで遊ぶお客さまの「笑顔」を目にした時には、胸に迫るものがありました。

2017年末には米ネバダ州の製造・販売ライセンスも取得し、2018年はラスベガスに販売地域を拡大する予定です。今後はより一層お客さまを笑顔にできるマシンを開発したいと思います。



ファンの皆さまとライブで熱狂！

セガ・インタラクティブが提供するエンタメコンテンツはアミューズメント市場だけではなく、ファンとコミュニケーションをする上で感動体験の提供や共感の創出、さらに従来型の施策からの脱却として『CHUNITHM』から生まれた音楽ユニットの『イロドリミドリライブ』や『セガ音ゲーライブ』などのライブプロジェクトがあります。開発、マーケ、物販、ライセンス、デジタルコミュニケーションなど社内外関係者と試行錯誤を繰り返し、皆さまのご協力となによりファンのおかげで実現に至りました。



イロドリミドリライブの様子

ライブ会場では、普段では味わえないファンの共感や熱狂を肌で感じることができました。引き続きファン深化や製品価値の向上につなげられるようにコミュニケーションを図っていきたくと考えています。

5



SEGA
Interactive

株式会社セガ・インタラクティブ
AM戦略本部 AMマーケティング部
第1プロモーションチーム

小清水 純 (Koshimizu, Jun)

6



TELECOM
ANIMATION FILM CO., LTD

株式会社テレコム・アニメーションフィルム
制作部 広報・著作権・アーカイブ担当

山崎 未沙子 (Yamazaki, Misako)

ルパン三世を50年、100年後も愛される作品にしたい！

2018年4月から放送を開始した「ルパン三世 PART5」はもうご覧いただけただけでしょうか？

国民的人気のある長寿コンテンツを新たに制作することには大きなプレッシャーもありますが、おかげさまで放送・配信ともに好評をいただき、数多くのファンの皆さまに支えられていることを改めて実感しています。

当社では2015年から独自にファン向けイベントの開催や原画展などの開催を行っています。そうした活動を通して若い世代にもアニメーションの制作現場を知ってもらい、クリエイターやコンテンツのファンを新たに獲得していく手応えを感じています。また、そこで集まったお客さまの声を作品づくりに活かし、50年後、100年後も愛される作品にしていきたいと思えます。



ルパン座トークin札幌

新しいカスタマーサービスはサミーから！

どんなに魅力的な遊技機であっても故障などで長期間稼働が止まるとはホール営業に支障をきたしてしまいます。このような“万が一”のトラブルも迅速に解消することを目的として、コールセンター事業を展開するJMSユニテッドの協力を得て、「サミーカスタマーサポートセンター」を運営しています。サポートセンターに入る“お客さまの声”は開発・生産部門への展開だけでなく、「お客さまがどのようなサポートやサービスを期待している



トラブルシューティングの様子

ののだろうか？」というお客さまニーズの分析にも活用しており、2018年2月には(株)ユニバーサルエンターテインメントのサポートセンターと電話番号を共通化した、より利用しやすいサービスを開始いたしました。これからも、「新しいカスタマーサービスはサミーから！」をモットーにお客さまの期待に応えるサポートセンターへ育てていこうと思えます。

7



Sammy

サミー株式会社
営業本部 カスタマーサービス部
部品サービスグループ マネージャー

(左)小泉 治男 (Koizumi, Haruo)

営業本部 管理部付
インフィニ・トーク(株) 出向

(右)宇津木 弘 (Utsugi, Hiroshi)

8

地域の皆さまに愛される
店舗、スタッフを目指したい！

株式会社セガ エンタテインメント
オペレーション統括本部 中日本営業部
東京西エリア クラブセガ新杉田
小林 茉莉奈 (Kobayashi, Marina)

学生時代、アパレルや飲食などの接客業を経験し、セガ エンタテインメントに入社いたしました。秋葉原3号館でアミューズメントだけでなくセガコラボカフェといった新業態を経験したことが自信につながり、2017年10月から新杉田店(横浜市)の店長に配属となりました。新杉田はベッドタウンということもあり、開業当時からいらっしゃる常連さまや、小さなお子さままで様々な年齢層の方がご来店されます。最近は「地域住民の方に愛される店舗を！」ということで、緣日イベントを開催しています。お客さまはもちろん、スタッフが笑顔で楽しく働いている姿を見られることが一番嬉しいです。今後はお店が好き、特に“スタッフが好き”というお客さまを増やすため、スタッフ全員で取り組んでいきたいと思っています。

お客さま、登録スタッフ、ジェイ・ネクストが
最高に満足できる関係を築く

イベント事業部のミッションは、「お客さま、登録スタッフ、ジェイ・ネクスト」の三者がWINになることです。

グループ内および商業施設内のイベント運営、検定試験運営、人事関連のビジネスプロセスアウトソーシングなど様々な分野の請負事業を展開しています。ジェイエムエス・ユニテッドの人材ビジネス部から発足して6年、現在30社の企業、1,500名超の登録スタッフを数えるまでになりました。数年後には50社、2,000名まで拡大していきたいと考えています。



東京マラソン2018
大会アシスタント

お客さまから「ジェイ・ネクストがないとイベントは開催できないよ!」といわれた時は本当に嬉しかったです。これからもお客さまと登録スタッフにミスマッチが起きないように業務内容の事前説明をしっかりと行い、「お客さま、登録スタッフ、ジェイ・ネクスト」の三者が最高に満足できる関係を築きあげていきたいと思っています。

9



ジェイ・ネクスト株式会社
イベント事業部

J-NEXT

(左) 吉川 実里 (Yoshikawa, Misato)

イベント事業部 部長

(中) 水島 啓太 (Mizushima, Keita)

イベント事業部

(右) 大河原 安晃 (Okawara, Yasuaki)

10

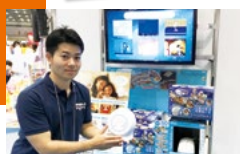
「こんな商品があれば!!!」を実現させ続けたい

自分の子どもがなかなか寝付かずに悪戦苦闘している時にふと思ひ浮かびました。そこで、社内外の子育てをされている方々を対象にどのような悩みや苦労があるのかをリサーチした結果、子育て中の親の50%が寝かしつけにストレスを感じていたことが分かりました。親のストレスをなくし、どの家庭でも“子どもの天使の寝顔”に毎晩出会える商品を目指して開発されたのが『ドリームスイッチ』です。現在、販売から約半年間がたちますが、売り切れの店舗が出るくらいご好評をいただいています。お買い上げいただいたお客さまから「布団になかなか入らなかったのに簡単に入ってくれる!」、「寝かしつけが楽になった!」、「我が家の必需品です!」など、嬉しいお言葉もいただきました。すべてのお客さまが買う時も買った後も満足し、喜んでいただける商品をこれからも企画して、世界中のお客さまのニーズに応えられる商品を企画することが私の夢です。



株式会社セガトイズ
企画本部 プロダクト企画部
ディレクター

土屋 貴由 (Tsuchiya, Kiyoshi)



東京おもちゃショー2018

最高のロケーションで、最高のおもてなしを

私はブライダルプランナーとして、はじめて来館されたお客さまにシェラトン・ウエディングの魅力を、実際に会場をご案内しながらご説明し、ご成約いただくまでを担当しています。

最大の魅力は、リゾートならではのロケーションと、ホテルならではの料理とおもてなしです。ホテル最上階である43階のチャペルに続き、2016年10月には42階にバンケットホールも誕生し、挙式から披露宴まで一番眺めの良い空間をお二人だけのためにご用意。お料理も前菜からデザートまでを数種類から選べるプリフィックス・スタイルとし、オリジナルのコースを組み立てることができます。

ご成約決定後は、実際の受け入れを担当するプランナーに引き継ぐのですが、新郎新婦様への事前ヒアリングをしっかりと行い、万全の態勢で受け入れ準備を進めていきます。またゲストに楽しんでいただけるよう、メッセージカードの作成やスイーツの準備など、おもてなしの気持ちも



忘れません。関係する部署と連携し、スタッフ全員で1組のお客さまをお迎えしております。

2017年8月は10組接客し10組すべてのご成約達成し、社内表彰制度の「ビジネス・ケア賞」で年間最優秀賞をいただくことができました。この受賞に驕ることなく、シェラトン・ウエディングに強い自信と誇りを持って、一生に一度の大切な結婚式を精一杯お手伝いしていきます。これから結婚を予定されているグループ企業の皆さまも是非リゾートウエディングを体験してみませんか？お待ちしております。

11



フェニックス・シーガイア・リゾート
(フェニックスリゾート株式会社)
シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート
ブライダル・コンシェルジュ

横山 明穂 (Yokoyama, Akiho)

TOPIC

セガサミーグループによる産学連携の取り組み

セガサミーグループでは、大学や専門学校などの教育機関と連携して出前授業を行うだけでなく、商品開発・販売などを行っています。次世代を担う学生たちに「社会を知る・業界を知る・仕事を知る」という経験をしてもらうため、社員が講義や講演を行いました。

●立命館大学×セガゲームス×SOU・SOU



映像学部の授業の一環として、プロモーション企画を立案&実践

セガサミーグループでは学術機関と連携し、社員が講師となる講演、出前授業、業界研究セミナーなどを行っています。ゲームキャラクター「ソニック・ザ・ヘッジホッグ」を盛り上げたいセガゲームスと、社会の活性化と生活の質の向上につながる映像文化を創造する人財を生み出すことが目的の立命館大学映像学部がタッグを組み、授業の一環でプロモーション企画を立案・実践しました。企画には国内唯一の国産地下足袋ブランド「SOU・SOU(ソウソウ、京都市)」も賛同。SOU・SOUの足袋をはいたソニックが京都市内を「旅」する写真をSNSで投稿・拡散させるという学生らしい取り組みとなりました。



憧れのキャラを使った地域活性に達成感

立命館大学映像学部は、「コンテンツづくりにおける全プロセスを体で学ぶ」を目標に、これらを「プロデューサー・マインド」と標榜してきました。ソニックというあこがれのキャラクターを用いて、自ら考えた企画がお客さまを喜ばす瞬間や、この企画を多くの人に伝えるための努力が実る



立命館大学
映像学部教授
中村 彰憲 (国際経営学)
(Nakamura, Akinori)

という達成感を学生たちに体験させることができたこの授業は、まさにその目標を達成したと言えます。足掛け1年、2つの科目、総勢100名近くの受講生に与えた影響は計り知れません。宮崎副事業部長、植村マネージャー、安田さま、山脇さまが、学生たちを全力でサポートいただいたこと心から感謝しております。

●女子美術大学×セガトイズ



アート・デザイン表現学科 ヒーリング表現 領域3年生24人への授業を実施

玩具メーカーであるセガトイズの社員が講師となり、女子美術大学アート・デザイン表現学科3年生24名を対象に、出前授業を実施しました。ぬいぐるみができるまでの過程についての講義の後、学生一人ひとりがターゲット別のぬいぐるみ商品企画についてのコンセプトをまとめたプレゼンテーションを行いました。発表後には社員から学生にアドバイスをしました。



お客さま満足の追求

お客さまニーズの把握と反映

▶ お客さまサポート体制

E お客さまの声を製品・サービスの品質向上につなげるため、ユーザーサポート窓口を運用する一方で、様々なお客さま情報を社内各部署に届ける専門の組織（CRM推進部）を設けています。この組織は2つの課で構成されています。

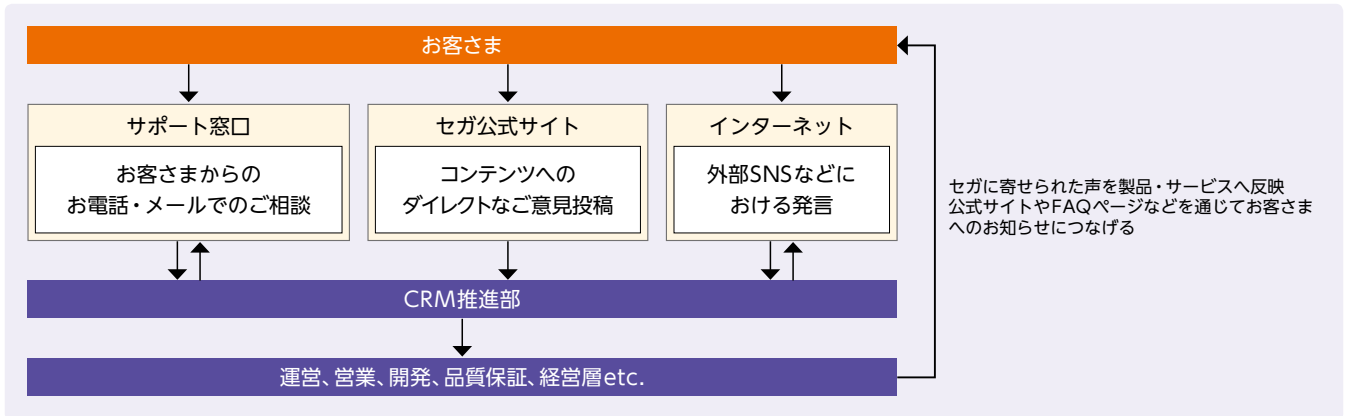
① お客さまの満足を追求する「お客様相談課」

ユーザーサポート窓口の運用を通じて個々のお問い合わせに迅速・的確にお応えする一方で、ツールを活用してアンケートやWEBサイト・外部SNSなどからお客さまの声を効率的に収集・蓄積し、関連各所へ市場の動きを報告しています。開発など事業側では製品・サービスの利用状況と組み合わせ、徹底的に分析することで、スピーディな改善や進化・新企画の創出に活かす体制づくりが進んでいます。

② 安全かつ合理的に個人情報を取り扱う「統合ID運用課」

グループ横断でユーザー認証やWEB決済を可能とする会員システム「SEGA ID」のインフラを提供するとともに、SEGA IDをキーにしてほかの情報と結合・蓄積できる仕組みも展開しています。また、2017年6月にはプライバシーマークを取得し、お預かりする個人情報により適切に管理・運用される環境を設けつつ、プライバシーマークの社外掲出を通じて社会的な信頼の獲得にも努めています。

● お客さまの声にお応えする仕組み・体制（エンタテインメントコンテンツ事業）



遊

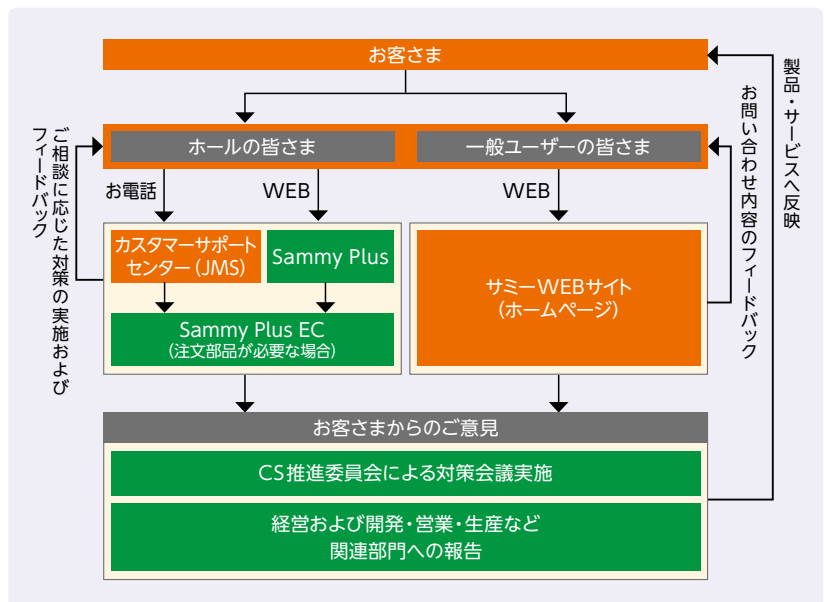
2017年度、コールセンターとパーツセンターを統合しました。

電話でのお問い合わせ受け付けから、アフター部品の出荷、故障のお問い合わせいただいたお客さまへのフォローコール、故障部品の回収までを一元的に実施することで、今まで以上にスピーディな対応を実現するとともに、故障部品を実機に装着して検証などの研修を通じた的確な故障診断の実施を目指しています。

また、お客さまの利便性向上施策として、1.電話だけでご説明することが難しい部品の「搭載箇所」や「交換方法」を、アフター報配信WEBサイト「Sammy Plus」を併用して分かりやすく説明するマルチチャネル案内の実施や、2.お客さまのご都合に合わせた部品注文が可能となるアフター部品のイーコマースサイト「Sammy Plus EC」の展開、3.競合メーカーのコールセンターと電話番号統一など、お客さまが利用しやすい環境の整備を進めています。

そして、サポートセンターへ寄せられたお客さまの声は、カスタマーサービス部で集計・分析し、タイムリーに関連部門へ共有することで、故障抑制や遊技機の操作性向上など、開発部門や生産部門のものづくりに活かされています。

● お客さまの声にお応えする仕組み・体制（遊技機事業）



製品・サービスの安全と品質保証

製品・サービスの安全と品質保証

▶ 品質保証体制

E セガ・インタラクティブでは、営業、開発などのラインから独立した立場の品質保証部が、品質保証規程に基づいて製品やサービスの安全性と品質を一括して管理することで、体制の強化を図っています。特に製品の安全性については、自主基準並びに業界団体 (JAIA*) のガイドラインに準拠し、安全管理を徹底しています。また、開発や生産、営業、品質管理などの各部門の関係者が集まり、製品仕様・設計仕様・量産仕様・量産判定の4つの観点で製品を評価するデザインレビューを実施しています。このほか、リスクマップを用いて製品のリスクを評価するPL診断も行っており、さらに出荷判定会議で出荷の最終的な判断を議論するなど、厳しい基準を満たした製品のみを市場にリリースしています。

* JAIA：一般社団法人日本アミューズメント産業協会

● AM機器の品質保証全体フロー概略



* DR=デザインレビュー(設計審査)

● お客様の声を活かす仕組み



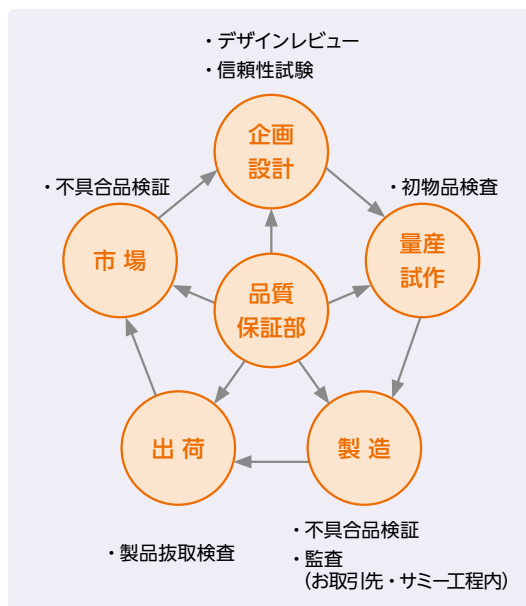
遊

サミーでは積極的な創意工夫と効果的に改善を行う品質保証活動により、安全で良質な製品やサービスを提供しています。また、人体の安全にかかわる「重要不具合」ゼロという目標を設定し、実現のための施策として以下の活動を行っています。

- ① 品質マニュアルの作成や品質記録の管理
- ② お取引先における4M管理チェックや監査・指導
- ③ 生産時における工程監査や新たな、高温環境下での製品打込み検査
- ④ 可動役物の検査仕様の適正化
- ⑤ 開発・営業・生産部門との品質に関する連携

これらの活動により、「重要不具合」ゼロの目標を達成しました。

● 品質保証活動(遊技機事業)



健全に楽しんでいただくための取り組み

製品・サービスへの表示とラベリング

E セガゲームスでは、家庭用ゲームソフトの製品パッケージや取り扱い説明書などに関して、お客さまに安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、説明法規制や業界団体が定めるガイドライン・社内規程に準じて、分かりやすく適切に表示することを徹底しています。また、各種製品における利用対象範囲の明確化や倫理問題にも積極的に取り組んでおり、各国の倫理審査結果に従った表示を行っています。日本においては、CERO[※]に基づく対象年齢表示に加え、独自の自主基準も表示しています。またCEROの審査を通じて得たノウハウを蓄積し、事例をもとにした9カテゴリー、26項目のガイドラインを策定するほか、イントラブログを通じて国内外の倫理的な自主表現に関する最新事例を随時発信することで、社員の意識向上を図っています。

※ CERO：特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構



適正なコンテンツ利用のための整備

E 遊 スマートフォンやタブレット端末向けコンテンツを提供するエンタテインメントコンテンツ事業のセガゲームス並びに遊技機事業のサミーネットワークスでは、主に未成年者の過度なゲーム利用や課金の問題に配慮し、一部タイトルで年齢認証による月間の課金上限を設けています。また、有料で販売しているポイントなどを使用して遊ぶガチャについては、入手できるアイテムのレアリティごとの、もしくはアイテムごとの入手確率を明記することを社内ガイドラインで定めるなど、曖昧な表現による過度な期待や、それによる過課金を防ぐよう努めています。いずれも業界団体のガイドラインに準じたもので、今後も、利用者の皆さまが安心して楽しめる健全なゲーム環境づくりに努めていきます。

不正防止対策

遊 遊技機の射幸性の抑制と不正改造の防止を主な柱とした「風適法施行規則等の改正」(2004年7月施行)を受けて、遊技機事業では、不正な方法で利益を得る、いわゆる“ゴト行為”を未然に防ぐために遊技機不正対策グループを設置し、継続的に市場情報を収集し不正に強い遊技機づくりに取り組んでいます。複雑化する不正改造に対しては、遊技機の流通過程を把握することで、不正に改造された遊技機そのものを市場から根絶していく取り組みを進めています。

また、一部市場に流布している根拠の無い不当な攻略情報に対し、サミーのWEBサイトや小冊子などで注意を促すなどの対策を図っています。



倫理・社会的な配慮

E セガ・インタラクティブでは、JAIAの制定する「健全化を阻害する機械基準」の運用規程を遵守し、製品化前の社内検証において、過度に残虐な表現やお客さまを不快にさせるような表現が無いか、チェックを行っています。

遊 サミーでは社内の監査機関である倫理委員会を設置し、一定の倫理基準や社会ルールなどを満たした遊技機を開発しています。また、独自のガイドラインを策定し、犯罪行為を誘発、または著しく射幸心をそそるおそれのある内容などが演出に含まれることのないように管理しています。のめり込み防止(射幸性に関する研究協力含む)に関する取り組みは統合レポート「社会関係資本」の「規制」の項目をご参照ください。

お取引先とともに

For Our Business Partners

グループCSR憲章

私たちは、お取引先と公平・公正な関係を保ち、互いに切磋琢磨し、良きパートナーとして、共に感動体験を創造し続けます。

グループ行動規範

「公正な関係」「公平な選定」

- (1) お取引先との関係は、常に清廉・透明・公正なものとし、もたれ合いや癒着と誤解されるような行動は、一切行いません。
- (2) お取引先との関係において優越的地位を濫用した不当な不利益を及ぼす取引[※]は行いません。
- (3) お取引先の選定については、信用度、技術力、開発力、価格、環境への対応力等を総合的に考慮し、公平かつ明確な基準で判断します。
- (4) グループ会社とも、透明で公正な取引を行います。

「接待・贈答」

- (5) お取引先に接待・贈答を行う場合は、社内で定められたルールに従うだけでなく、社会的常識に照らし合わせ、節度を保ち、適切に判断し、実行します。

「個人利益」

- (6) お取引先とは、立場を利用して利益や便宜の供与を受けるなどの個人的利益の追求を行いません。

※ 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(独禁法)、下請代金支払遅延等防止法(下請法)等をいう。



ATLUS

株式会社アトラス
第三プロダクション(スタジオ・ゼロ)
チーフプロジェクトマネージャー/プロデューサー
山本 晃康 (Yamamoto, Akiyasu)

お取引先との協業が ブランディングへとつながるように

プロジェクトマネージャーという職種において、社内の開発リソースではまかなえない外部の開発会社さまとの渉外・折衝は主な業務の一つとなります。「お客さまに喜んでいただく」という目的のため、切磋琢磨する関係性でお付き合いさせていただいているお取引先さまとの仕事は刺激的で楽しいものです。中でも「オーディンスフィア」や「ドラゴンズクラウン」をはじめとするIP自体を創造されるヴァニラウェアさまとの協業はユーザーファーストを徹底的に議論する場に立ち会えることもあり、とてもやりがいを感じています。真摯なものづくりがお互いのブランディングにつながる、そんなパートナーシップをこの先も増やしていければ幸せだ、と思います。



お取引先にもメリットの大きな電子契約システムを遊技機メーカーで初めて導入

あらゆる契約にかかわる様々な手間やコスト削減を推進すべく契約書の電子化に取り組みました。サミーでは、お取引先さまもメリットを享受いただける仕組みとして、2017年4月より開発部門を中心に電子契約システムを導入しています。これは、遊技機メーカーで最も早い電子契約システムの導入であり、「新しいことはサミーから」というテーマを体現した事例となりました。

システムを導入することで「①コスト削減」(印紙・送料などが不要)、「②スピードアップ」(ペーパーレスによる業務効率化)、「③コンプライアンス強化」(法令に対応した長期保管可能、郵便法違反の防止にも寄与)の3つのメリットが実現できています。導入にあたって東京と名古屋で合同説明会を開催し、多くのお取引先さまのご賛同のもと、ご利用いただいています。



サミー株式会社 コーポレート本部
総務部 総務グループ
高澤 照江 (Takasawa, Terue)



セガの顔として お取引先との信頼関係の構築に取り組む

私は現在、セガゲームスやアトラス、お取引先さま商品であるゲームソフトをエンドユーザーへ届けるべく、小売店や問屋に対し、営業を行っています。営業は関与するすべての皆さまとの信頼関係により成り立つものだと考えており、その信頼関係を如何に築いていくかを念頭に置いて、日々の業務に取り組んでいます。信頼を得るにはどれだけ熱意を持って社内外からの要望に一つ一つ向き合い、それに応えていくかだと考えています。お取引先さまセガをつなぐ顔となり、セガの看板を背負っている以上、芯を持って行動することは難しくもあり、やりがいを感じる部分でも

あります。かゆいところに手が届く営業、そして1歩2歩先を行く営業を心掛け、これから世に出ていく商品を多くの方々に楽しんでいただけるよう、そして多くの方々にセガファンになっていただけるようセガの顔として邁進していきます。



株式会社セガゲームス
国内アジア事業部 国内営業部
東日本第1営業チーム

島田 雄一郎 (Shimada, Yuichiro)

公平・公正な購買のために

公平・公正な取引の徹底

お取引先への要請事項

「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」にそって、以下の項目に対する取り組みをお取引先へ要請しています。

- I. 労働
非差別・人権尊重、賃金、労働時間、団結権、児童労働禁止
- II. 環境
化学物質管理、環境影響の最小化、3R、廃棄物の適正処理と削減
- III. 安全衛生
職場の安全衛生対策、労働災害・労働疾病、健康管理
- IV. 品質・安全性
製品安全性の確保
- V. 公正取引・倫理
汚職・贈収賄、優越的地位乱用等の禁止、情報提供、知的財産、輸出管理
- VI. 情報セキュリティ



「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」

https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr/20141101_supplychain_csr.pdf

● 調達・購買におけるCSR活動の推進

E 2015年度より「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」に対するご理解と実践をいただくことを取引の基本契約書に盛り込んでいます。既存のお取引先についても契約書の更新をお願いしており、概ね80%で再締結が完了しています。

遊 遊技機事業では、「生産購買外注管理規定」など各種規程に基づき、お取引先の評価・選定を行っています。新規取引開始の際は所定の審査を行い、相手先や外部調査機関から入手した情報をもとに適正性を判断し選定しています。継続

監査にあたっては、每期内容を見直し、2017年度は96社を対象に実施しました。当社からの指摘について実施予定も含めてすべて是正、対応いただきました。今期は新たに「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」に沿った取引先セルフチェックを実施し、対象110社中108社より回答をいただきました。CSR調達の考え方について、今後も継続して浸透を図ってまいります。

● 下請法遵守体制の強化継続

E 下請法遵守を推進する委員会を2009年4月に設立し、下請法の啓発を行うとともに、違反が発生した場合のフォローアップを図っています。セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガゲームス、セガロジスティクスサービス、オアシスパークでは、2017年度も業務上、下請取引が発生する部門を中心に20回(受講者934名=SHD,SGC,SIC,SLS,OP参加者合計)の説明会を実施し、社内イントラネット上の専用WEBサイトも活用して、必要な知識の習得や遵法意識の向上に努めています。

遊 下請法の遵守をはじめとしたコンプライアンス体制の構築と運用を最重要事項と捉え、社内教育の強化を図っています。サミーではこれらを人事制度上の階層別教育研修プログラムに組み込み、グループ会社においても同様にコンプライアンスに関する研修を実施し、さらなる充実に努めています。

また、お取引先との相互信頼と清廉性に則った健全な取引を維持していくことを目的に、相談窓口として社内外に「サミー企業倫理ホットライン」を設置しています。なお、相談を受けた場合は、お取引先が不当な扱いを受けることがないよう中立的な立場であるコーポレート本部が対応し、担当役員が責任を持って対処します。

アミューズメント(AM) 資材調達方針

[基本姿勢]


1. 当社のAM資材調達活動にあたる全ての社員は、法令・社会規範を遵守し、「セガサミーグループ行動規範」及び各種社内規程に則り良識ある行動をします。
2. 当社のAM資材調達は清廉・公正を旨とし、お取引先に対して公平かつ誠実に対応いたします。
3. お取引先とは、公正な取引のもと信頼関係構築に努め、協力して技術・品質の向上、経済性・効率性を追求し、相互繁栄を目指します。

● 児童労働・強制労働の禁止

E 主に海外の委託工場などでの児童労働および強制労働の禁止についての取り組みを進めています。プライズ商品の調達に関しては、セガ・インタラクティブでは、購買部門および品質管理部門が合同で2ヶ月に1回、製造委託先の工場を訪問し、現場確認を含む当グループ社員および第三者による工場監査を実施しています(サプライヤー監査、カバー率約92%)。また、セガ・エンタテイメントでは、アミューズメント施設用のプライズ商品について、主要調達先への奴隷労働や人身取引に関するアンケート調査を実施し、管理状況の確認などを実施することによってリスク低減に努めています(サプライヤー監査、カバー率60%)。玩具商品の調達に関しては、セガトイズでは、児童労働および強制労働に関する法令遵守条項を盛り込んだ製造委託基本契約書の再締結の推進、購買部門社員や現地担当者の人権に関する研修の実施を行うとともに、第三者機関による製造委託先企業の労働基準順守証明書の取得状況のチェックなどを実施しています(サプライヤー監査、カバー率96%)。

● 英国現代奴隷法への対応

E 2015年3月に制定された英国現代奴隷法(Modern Slavery Act 2015)を受け、セガゲームスの英国子会社であるセガヨーロッパリミテッドは「奴隷と人身売買に関する声明」を2016年9月に発表しました。

 奴隷と人身売買に関する声明

https://d2x7js8mtamps9.cloudfront.net/SOE-Modern_Slavery_Statement_September_2016.pdf

お取引先とのパートナーシップ

● サプライヤーとの連携

E セガ・インタラクティブでは、開発方針、調達方針などを説明するサプライヤーミーティングを開催し、環境配慮や品質などへの取り組み課題を共有するなど、サプライヤーとの連携強化に努めています。2017年度は83社149名のお取引先にご参加いただき、うち96%から「有益だった」との回答をいただきました。



2017年度サプライヤーミーティングの様子

● 協力会社との合同品質会議

遊 ユニット組立担当企業を対象に年2回の合同品質会議を実施しています。2017年末の当会議では対象7社中全社(13名)に参加いただき、双方向での意見交換が活発化するよう改善しました。今後もQCを主軸に連携強化を図ります。

● 合同品質会議の開催実績(2017年度)

		上期	下期	小計	合計
協力企業	のべ参加社数	7社	7社	14社	14社
	のべ参加人数	13名	13名	26名	
サミー	のべ参加人数	17名	18名	35名	61名



2017年度合同品質会議

社員とともに

Together with Our Employees

グループCSR憲章

社員一人ひとりの創造性とチャレンジ精神がグループ発展の源であり、最大の財産です。私たちは、社員がもつ限りない可能性を最大限発揮できる企業文化を育み、ともに成長していきます。

グループ行動規範

「職場環境の整備」

- (1) 社員の安全と健康に配慮し、安心して勤務できる職場環境を構築します。
- (2) 社員が個々の能力を十二分に発揮し得る、「働き甲斐」「やり甲斐」のある柔軟性に富んだ会社になります。

「ハラスメント」「差別」

- (3) セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、プライバシー侵害等、職場環境を乱す行為は行いません。
- (4) 人種・信条・性別・年齢・障害・学歴・門地等を理由とした、雇用機会や待遇の均等を損ねる差別行為は行いません。



1

3部門(企画・開発・営業) 連携強化! 売上げ大台(100億)突破へ!

プライズ業界は成長市場で、アミューズメント店舗売上げの50%をプライズが占める時代に突入し、会社の期待も今まで以上に大きくなってきたなか、今春からMD事業の体制が一新されました。

企画・開発・営業、3部門の意思疎通を図りやすくすることで部門内コミュニケーションが活発化し、開発が営業と同行したり、ともに映画ライセンサーの説明会に参加するなど、権利元さまも含め、三位一体になった活動を行なっています。

また、プライズ景品はいわば“生モノ”であり、如何に市場変化を察知し、スピード感を持ちながら鮮度の高い商品を市場投入できるかが成功のカギとなります。オペレーターさまや市場の情報を営業と企画が収集・分析し、開発や販売に活かして、市場にマッチしたビジネスを展開していきたいと思えます。

アイデアの意見交換で相乗効果も生まれてきましたので、今後は部門内のジョブローテーションなどさらに連携を推し進め、100億円超の売上達成を目指していきます。



株式会社セガ・インタラクティブ AM事業部 MD開発部

(左) 叶多 弘和 (Kanouda, Hirokazu)

AM事業部 事業企画部

(中) 加藤 英彦 (Katou, Hidehiko)

AM事業部 MD営業部

(右) 山口 桂司 (Yamaguchi, Keiji)



ミニオン ™ & © UNI
コナン © 青山剛昌/小学館・読売テレビ・TMS 1996 © GOSHO AOYAMA /
SHOGAKUKAN・YTV・TMS 1996

2 スタッフ全員が笑顔で業務できるように

現在、公園の植栽と総務を担当しています。入社14年間でインフォメーション、観覧車、クレープショップなど、様々な部署を経験しました。配属先の業務(イベント、飲食店など)により、オアシスパーク内の見え方、感じ方も多種多様です。

植栽の先生に指導を受け、多くのお客さまに楽しんでいただけるよう始めた“花壇づくり”では、スタッフ間のつながりやオアシスパークへの愛着も深めてもらいたいという思いから、部署間の繁閑やスタッフの役割を考え、できるだけ多くのスタッフにも参加していただけるよう調整しています。



総務ではスタッフ50名の皆さんを支援する仕事も多く、季節と彩りに合わせ植える花それぞれに役割があるように、オアシスパークのスタッフ全員が笑顔で楽しく活躍できるよう、心がけていきたいと思います。



株式会社オアシスパーク 管理部 公園運営ユニット
植栽・総務担当
後藤 美帆子 (Goto, Mihoko)



オアシスパーク：国営木曽三川公園、世界淡水魚園、自然共生研究センター、水辺共生体験館、岐阜県水産研究所、東海北陸自動車道の川島PAおよびハイウェイオアシスからなる「河川環境楽園」のなかのレジャー施設。

教わったことをしっかりと新人に引き継いでいく

アーケードゲームやゲームなど30機種の設置や修理に、関東圏を中心に長野や新潟まで対応しています。入社1年目は先輩に同行し、実際の修理を見て、教えていただきながら学んでいました。現在は、依頼書の内容に応じて任せていただくことも増えてきました。

現場では、修理依頼書に記載されてない不具合の原因の場合もあるため、事前に想定できることはすべて考え、先輩にも相談し、考えられる部品をすべて持って行くように心がけています。また、設置・修理の時間は限られるため、緊張感もありますが、稼働確認ができた時、店舗の方から「ありがとう!」「助かったよ!」といわれると、本当に嬉しいです。

2018年は3名の新人が入社し、指導する立場にもなりました。これまでの経験や先輩から教えていただいたことをしっかり伝え、チームとしてコミュニケーションを取り、連携し、強い保守サービス部をつかっていきたいと思っています。



株式会社セガ・ロジスティクスサービス
保守サービス部 東日本サービス課
東京サービス係 技術担当

下山 颯 (Shimoyama, Hayate)



4 業務効率化推進は、施策+社員間コミュニケーションの強化



サミー株式会社 研究開発統括本部
開発推進本部 開発管理部 部長
種子野 剛 (Taneno, Tsuyoshi)



開発部門の現場では、“遅くまで働くことが当たり前”の風潮がありました。

転機は、IR参入を見据えた法令遵守や働き方を見つめ直す機運が高まったことで、長時間労働抑制に向けた仕組みを整え、運用を始めました(残業時間の段階的アラート、長時間労働の制限、休日出勤や宿泊管理など)。

その結果、協定違反者0(ゼロ)・残業時間の大幅な減少の成果に至りました。また2016年度から導入された【フレックスタイム制度】により、開発社員の意識が“短い時間で大きな成果を出す”ことにシフトし、3年前(2014年度)と比べて一人当たりの労働時間は約2割削減という効率化につながりました。

こういった取り組みは管理部門の施策だけではなく、マネジメント職や社員の方々とコミュニケーションを取り、“働き方に対する改善意識”がプラスされて初めて結果として表れるものだと感じています。

日本でのIR実現に向けて韓国で ノウハウを吸収!

2015年6月に韓国に赴任して約3年、いろいろな部署を経験し、現在、サーベイランスチームで勤務しています。



サーベイランスはカジノならではの部署なので学ぶべきことがとても多く、同僚の韓国人スタッフから日々いろいろと教わりながら、業務知識の習得に励んでいます。日常業務においては、覚えた業務手順を実践するだけではなく、同時に日本IRでの機能構築に必要な知識も習得しなければなりません。同僚のスタッフに質問する際には、韓国語能力も必要ですが、それ以上にスタッフとの業務内外での良好な人間関係を保つことが欠かせません。日々の挨拶や接し方、業務外の会食での接し方など…。同じ会社の仲間だと認識してもらうことで初めていろいろと教えてもらうことができます。今後もこうした関係を維持して、同僚からの信頼を得ることはもちろん、日本IR実現に向けてさらなるノウハウ吸収にも努めます!



5

PARADISE
SEGA-SAMMY

株式会社パラダイスセガサミー
日本市場企画運営チーム 管理パート長
遠藤 輝彦 (Endo, Teruhiko)

7

社員の家族と会社をつなぐ ファミリーデー

2018年夏、セガサミーホールディングスとセガ エンタテインメントの協働でファミリーデーを開催。日々支えてくれている家族への感謝と職場に対する理解を深めてもらうことを目的に、子どもたちを1日社員に任命、各部署が用意したお仕事を体験してもらいました。

お仕事に応じて手渡しされるお給料を使い、UFOキャッチャーやセガグッズ購入を楽しんでもらい、それらが夏休みの宿題の自由研究のテーマになったご家庭も多かったようです。

家では見ることができないパパ・ママの姿を見てもらい、家族との思い出・会話が aument したとの声もある中、「会社って毎日あんなに楽しいの?」と聞かれたママもいらっしゃるとのこと!



社員もご家族の方も笑顔いっぱいの1日になって嬉しく思います。

6

貴重な資産を後世につなぎ、 将来のトムス作品ファンに 楽しんでいただきたい



株式会社トムス・エンタテインメント
アーカイブ部
三木 孝治 (Miki, Koji)



1964年に東京ムービーとして設立し、50年以上の歴史を持つ老舗アニメーション制作会社であるトムス・エンタテインメントは、これまでに約410タイトル、11,000エピソードもの作品を手掛けてきました。私たちが所属するアーカイブ部はそれら作品群のフィルム、テープ、設定画、セル画、絵コンテ、台本など、大変貴重な会社の財産を保管、管理し、運用のお手伝いまでをする部署です。資産総数は約30万点にも及び、日々、増加する一方で整理やメンテナンスには大変な時間と労力を要しますが、これらの貴重な資産をできるだけ高いクオリティで後世に伝え、現代のみならず、将来のアニメファンにもトムス作品を楽しんでもらえるように毎日コツコツと頑張っています。



株式会社セガホールディングス IT本部 CRM推進部 副部長
(左)岡田 淳良 (Okada, Atsuyoshi)
株式会社セガ エンタテインメント 管理本部
人事総務部 担当部長
(右)宮前 明典 (Miyamae, Akinori)





SEGASammy

サミー株式会社 生産統括本部生産企画本部管理部

(左)須田 凌平 (Suda, Ryohei)

株式会社セガホールディングス 総務部

(左から2番目)本間 諒 (Honma, Ryo)

セガサミーホールディングス株式会社
インターナル・コントロール室

(右から2番目)宮川 和人 (Miyagawa, Kazuto)

サミー株式会社 情報企画部

(右)砂川 哲平 (Sunagawa, Teppei)

2018年のチームスローガンは「結束力～一人一躍～」。セガサミーグループ本社の大崎移転に伴い、さらにグループ力を高めるため、野球部でも「都市対抗優勝」を最大の目標と掲げ、日本一のチームを目指し精進しています。

その中で、各配属先の元気印として職場の皆さまに「明るい話題提供」ができるよう努力することはもちろん、社員に愛されるチームとなることが最大の任務だと感じています。

7月に開催された第89回都市対抗野球大会では、多くの方々に東京ドームへお越しいただき大変アツイご声援を届けてもらいました。結果として出場10回目にして初のベスト4に進出することができたのも、皆さまのご声援が私たちの実力以上のパワーを引き出してくださったお陰だと感じています。ありがとうございました。

セガサミーグループのシンボルとして夢と感動を与えるプレーを求め、グループの発展に貢献できるように、今後ますます精進していきます。



TOPICS

セガサミーゴルフエンタテインメント

「ノース・つくし保育園」を開園

約6年間休止していた千歳市の施設を再利用し、企業主導型保育事業として、ザ・ノースカントリーゴルフクラブから車で1分の場所に、「ノース・つくし保育園」を2018年3月に開園しました。(運営は千歳市内に認定こども園、幼稚園を運営する学校法人つくし学園に全面委託)。

“働き方改革”の一環として、子育て世代の若手社員が子どもを預けて安心して働くことができる環境づくりを行い、今後の求人にも役立てるとともに、週7日間開園する保育園として、地域における潜在的な待機児童の解消にも貢献していきます。また、つくし学園が保有する「つくしんぼ広場」やセガサミーゴルフエンタテインメントが冬期間、運営する「ノーススノーランド・イン千歳」(ゴルフ場敷地内)の各フィールドを活用し、様々な遊び体験や野外活動を行うことにより、園児の健康な身体づくりを目指していきます。そして、認定こども園つくし保育園との合同活動を活発に行い、子どもたちに仲間との関わりや新たな活動を体験いただきます。

※ 2018年6月24日現在、定員19名に対して13名の園児が在籍。



年間行事予定

	主な行事	父母の参加
4月	交通安全教室、サケ放流	父母の会総会、クラス懇談会
5月	イモ植え・プール開始(3歳以上) バス遠足(5歳)	
6月	春の遠足、歯みがき教室、いちご狩り	
7月	園まつり、交通安全教室	園まつり
8月	夏のお楽しみ会(つくしんぼ広場)、イモほり、消防見学	
9月	運動会、交通安全教室、秋の遠足	運動会
10月	サケのふるさと千歳水族館見学、焼きイモ	個人懇談会
11月	人形劇鑑賞	
12月	発表会、餅つき、クリスマス会	発表会
1月	新年お楽しみ会、歩くスキー、チューブすべり(スノーランド)	
2月	節分、交通安全教室	クラス懇談会
3月	ひなまつり、おわかれ会	修了式

人財の育成と評価

人事制度

E セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガゲームスでは、社員の長期的なキャリア形成とプロ意識の向上のため、複線型人事制度を導入し、組織を率いていく「マネジメント職」と知識や技術を活かしていく「プロフェッショナル職」のコース選択を可能にしています。また、毎年「従業員満足度調査」を実施し、社員の課題認識や期待値・不満度などを確認の上、モチベーションの向上に向けた各種人事施策へと展開しています。

育成環境面では、新入社員一人ひとりに対して公私両面のサポートを選任で行う「コーチ制度」を設けているほか、「新入社員フォロー研修」「2年目研修」など、若手社員の成長を支援する教育体系が整備されています。

評価・報酬面では成果や行動発揮に加えて時間生産性を考慮した評価／インセンティブを導入し、生産性の高い働き方を実現した社員に報いる取り組みを進めています。

遊 社員全員がプロ意識を持ちチャレンジし続けるために、「マネジメントコース」と「プロフェッショナルコース」の自己選択型の制度を整備しています。社員一人ひとりに求められる役割を明確化し、また成果貢献に応じた適正な処遇により社員のやる気と成果に報いることでパフォーマンスを最大限に引き出すことを目指しています。

また、人財育成については階層別研修に加えて、管理職に対する能力開発機会の提供を充実させマネジメント力の向上や公平な評価の実現についても強化を図っています。社内表彰制度では、2017年度の会長賞・社長賞は10案件62名が、社員のチャレンジをより賞賛するための「積極進取賞」では18名が表彰されました。さらには、積極進取の精神でアイデアを会社へ提案する制度『やっちゃえG30』を2016年より発足させ、これまで2年間で約350件の提案があり、うち37件が具体的な施策として実現しています。そのほか、社員満足度調査や、将来的にチャレンジしたい仕事を申告できる自己申告制度など、様々な施策を展開しています。これらの成果もあり、過去5年の離職率は約2%と、今後も社員がいきいきと働ける環境づくりを進めていきます。

多様性の推進

女性活躍推進

E 女性が十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備して企業の成長につなげるため、行動計画を策定して目標達成に向けて取り組んでいます。

セガホールディングス、セガゲームス、セガ・インタラクティブでは、2016年から2020年までの4年間の計画期間として、新卒採用における応募者の女性割合を30%以上とする目標を掲げ、性別にとらわれない公正な選考に向けたガイドラインの策定や、大学などと連携した女子学生向けセミナーを実施していきます。また、社員の育児休業後の復職定着率100%の実現を目標とし、休業中の方への情報提供などに取り組んでいきます。

遊 育児休業中の社員に対してキャリアと育児の両立支援をするために、育児休業中のキャリアブランクを無くすための能力開発機会としてeラーニングを導入したり、休業中に会社の状況を把握できるようコミュニケーションツールの導入を行いました。また、2016年度から開催している女性社員のキャリアデザインを考える研修を継続実施し、現在までに計4回、79名の女性社員が参加しました。そのほか、女性社員と社長の意見交換会を実施するなど、さらなる女性活躍推進に向けた情報収集も行っています。

人権の尊重

ハラスメント撲滅への取り組み

E セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガゲームスでは、すべての社員が気持ち良く働き、最大のパフォーマンスを発揮できるよう、ハラスメントの防止に注力しています。社内研修やイントラネット上で気軽にできるミニテスト、ケーススタディを利用し、ハラスメントに関する理解の徹底を図っています。また、役員および社員(受入出向者、アルバイト、派遣社員を含む)が不安や悩みを相談できる窓口を、相談内容によって選べるよう社内外に複数設置しています。

働きやすい職場環境の整備

ワークライフバランスの推進

E グループとして取り組んでいる「働き方改革」の一環として、セガホールディングス、セガゲームス、セガ・インタラクティブの3社に、2017年7月より「フレックスタイム制度」を導入しました。従業員一人ひとりの時間管理意識を高め、労働生産性の向上およびワークライフバランスの充実を目指しています。また、従業員の健康保全を第一に、長時間労働削減に向けて継続的な取り組みを進めています。

遊 2017年度よりフレックスタイム制度を導入し、生産性高く、効率的な働き方実現に向けて歩み始めました。また、有給休暇の取得向上策にも継続的に取り組み、前期と比較して、時間外労働は34,757時間減少（一人あたり4.3時間/月の減少）、年次有給休暇の取得日数は1,171日増加（一人あたり1.2日/年増加）しました。2018年度テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス）の試験導入により効率的に働ける環境の構築、社員のワークライフバランスを推進していきます。

サミー川越工場では、生産計画を中期的に捉え繋閑の波を大局的に把握の上、繁忙の狭間を「有休推奨期間」として設定、労働時間にメリハリをつけ、効率的で生産性の高い働き方の実現を目指しています。

埼玉県の「多様な働き方実践企業」のゴールド認定のもと、県主催の女性活性化セミナーへ工場勤務の女性社員が参加し、働きやすい職場環境の向上・整備に努めています。

※ 認定要件6項目のうち、要件を満たす項目数によって「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」に区分されます。



労働安全への取り組み

遊 E 社員の健康と安全を守るため、安全衛生委員会を毎月開催しています。また、現場で発生する事故に対して、常に予防または改善することを徹底し事故件数をゼロにするための取り組みを進めています。万が一、現場で事故が発生した場合には、直ちに原因追究をするとともに、改善を行い再発防止に努めています。

サミー川越工場では、社員自らが身のまわりにひそむ危険要因をチェックし、都度改善する「6S*パトロール」活動や、さらにセキュリティと節電の二つのSの観点を加えた「8Sパトロール」活動を行うなど、社員の健康と安全を守ることに力を注いでいます。

遊 2017年度は、安全衛生委員会を通じて2016年度に実施したリスクアセスメントの結果を踏まえ、工場建屋外周の一部に安全歩行帯を設置、工場内においては製品搬送ラインにガイドワイヤーを増設しました。また、工場独自の「安全基準」については、その内容をブラッシュアップし、当社生産現場の実情に即した基準（ガイドライン）へ昇華させています。このほか、営業担当者は自動車の安全運転を心がけており、無事故無違反期間が1年以上の場合に取得できるSD (Safe Driver) カードを年に一回取得しています。

※ 6S：整理・整頓・清掃・清潔・躰・セーフティー

健康管理

E セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガゲームスでは、定期健康診断や人間ドック受診料補助、外部専門相談窓口（社員の家族も利用可）の設置、産業保健スタッフが常駐し、内科・精神科医、保健師、看護師への相談が可能な健康管理センターの設置などの支援体制を整えています。安全配慮の観点から会社独自の基準を設け、健康管理面談も拡充しています。また、月例の安全衛生委員会の議事録や各種関連情報を社内WEBサイトに掲載し、社員への周知に努めています。

遊 健康管理の一環として、ストレスに対するセルフチェック機能向上のためWEBツールを活用する一方、新任管理職を対象にメンタルヘルスマネジメント研修を実施しています。長時間労働者に対しては、問診票配布、産業医面談を行うほか、所属長への労働時間削減への取り組みを促すことの徹底、休暇取得促進などを実施しています。今期よりフレックスタイム制度が導入され、効率的な働き方が実践された結果、長時間残業者に発行する問診票の発行枚数が、前期と比較して65%減少しました。そのほかの取り組みとして、勤務中いつでも産業医・看護師に相談できる体制も整備しているほか、タブレット端末を通じて産業医・看護師と面談できるシステムを導入するなど、遠隔地の事業所もきめこまかくフォローしています。

長時間残業の削減への取組状況、副業【Job+（ジョブプラス）】など多様な働き方への取り組みは統合レポート「人財戦略」をご参照ください。

CSR研修

2013年度から、グループ企業の社員に向けてCSR研修を実施しています。

2017年度は32回開催し、934名が受講。通算では102回の開催で、グループ18社の2,431名が受講しました。「社会と企業の共生」「セガサミーグループのCSR活動」という2つのテーマについて、講義やグループワークを通じて理解を深めるとともに、セガサミーグループの一員としての社会との関わり方について考える機会を創出しています。

2017年度の開催実績

企業名	開催回数	参加人数	対象者
フェニックスリゾート株式会社	10回	206名	管理職・一般社員
4社合同 サミー(株)、(株)セガホールディングス、 (株)セガゲームス、(株)セガ・インタラクティブ	12回	437名	課長職・一般社員
7社合同 (株)サミーネットワークス、(株)パタフライ、(株)セガ・ロジスティクスサービス、(株)セガトイズ、(株)ダーツライブ、(株)トムス・エンタテインメント、フェニックリゾート(株)	5回	108名	課長職
(株)セガ・ロジスティクスサービス	3回	53名	管理職・一般社員
新入社員	2回	130名	新入社員
2017年度計	32回	934名	
2013年度からの総計	102回	2431名	

CSR研修プログラム

※ 対象によって一部内容が異なります

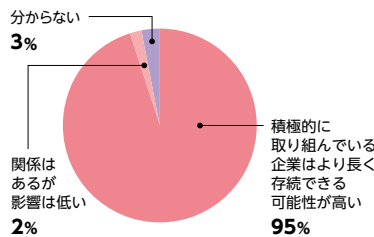
- 14:00 開会、研修趣旨説明
- 14:15 講義①「社会と企業の共生」
講義②「セガサミーグループCSR活動」
- 15:15 休憩
- 15:25 グループワーク①(ワールドカフェ)
- 16:45 グループワーク②(ワールドカフェ)
- 17:20 発表
- 17:50 「私のCSR宣言」、「受講アンケート記入」
- 18:00 閉会

研修の様子と受講後アンケート

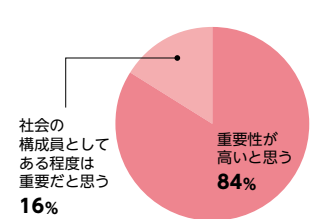
- CSR研修では、まず講義で「社会と企業の共生」「セガサミーグループのCSR活動」について理解を深めます。
- その後ブレインストーミングや討論によるグループワークを通じて、互いの意見や社会課題解決へのアイデアを共有しています。
- グループ間交流もできるため、研修受講後のアンケートでは、80%以上の方が「役に立った(楽しかった)」と回答しています。
また、受講者のほぼ全員がCSRの重要性について理解を示し、95%以上の方が、CSRの取り組みと企業の持続可能性について関連が大きいと考えています。

アンケート集計

CSRの取り組みと企業の持続可能性について



企業にとってCSRの重要性について



受講者コメント

- 自分にとってプラスになる研修でした。
- あらためて仕事に対する取り組みなどを見直すことができ、有意義な研修でした。
- CSRについての理解を深めると同時に自社の役割・地域・社会へ貢献しうるもの・コトを改めて考える機会となりました。
- 企業価値を社会に役立てることでその組織の成長につながる点、私たちのセガサミーグループはそれができるパワーを秘めているという点をこの研修をもって学びました。
- CSRの重要性についてあらためて学ぶことだけでなく、他部署の方とのグループワークが有意義でした。
- グループの大きさをあらためて感じることができました。非常に楽しく意見をいうことができ、とても良かったと思います。
- CSRの理解を深める場になったし、普段は会えないグループメンバーと会話する場になったのは良かったです。まだ発揮できていないナジー効果の可能性を感じました。



人事・労務に関するデータ

対象範囲・集計方法

- 2015年度：国内16社、2016年度：国内16社、海外2社（社員構成のみ）、2017年度：国内15社、海外2社（社員構成のみ）
- ※ 2017年度のカバー率：売上比約9割、正規雇用人数比約7割
- SSHD/SHD/SIC/SGC/SE/SLS/TMS/TOYS/DL/SAMMY/SNW/BTF/JMS/JNEXT/PSR
- 海外：SOA (Sega of America, Inc.) / SOE (Sega Europe Ltd.)
- ※ 2017年度より集計方法を変更しました。それに伴い、一部の数値を遡及修正しました。

※ 略称は、P.1参照

● 社員構成

	2017 (国内15社)			2017 (海外2社)		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性
社員数(名)	6,028	4,912	1,116	271	196	75
正規雇用	5,489	4,529	960	271	196	75
非正規雇用	463	331	132	—	—	—
外国籍	76	52	24	—	—	—
平均年齢(歳)	39.7	40.4	36.9	—	—	—
平均勤続年数(年)	12.1	12.5	10.3	—	—	—

● 障がい者雇用

	2015	2016	2017
雇用人数(名)	173	168	205
雇用率(%)	1.95	1.90	2.12

● 管理職・役員構成

	2015	2016	2017
女性管理職者数(名)	56	78	81
女性管理職比率(%)	5.4	6.7	5.0

2017年度の内訳

	合計	課長職級	部長職級	執行役員級	役員級
役職者別人数(名)	1,108	686	323	56	43
男性	1,049	640	311	56	42
女性	59	46	12	0	1
女性比率(%)	5.3	6.7	3.7	0.0	2.3

● 採用

	2015			2016			2017		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
新卒採用者数(名)	95	62	33	124	74	50	139	86	53
新入社員離職率(%) (入社3年後)	30.0	28.1	35.5	23.9	17.3	46.7	20.4	16.4	28.1
中途採用者数(名)	200	159	41	212	161	51	226	169	57
定年後再雇用者数(名)	19	18	1	43	35	8	43	40	3

● 労働安全衛生

	2015	2016	2017
労働災害発生件数(件)*	6	1	0
労働災害発生率	0.6	0.1	0

* 労働災害発生件数=休業災害の件数

● 両立支援制度利用実績

	2015			2016			2017		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
産前・産後休業取得者数(名)	59	—	59	45	—	45	55	—	55
育児休業取得者数(名)	77	6	71	82	12	70	95	21	74
育児休業復職者数(名)	53	5	48	57	12	45	56	20	36
育児休業復職率(%)	—	83.3	88.9	—	100	90.9	—	100.0	98.6

* 2016年度の男性の育児休業取得期間の内訳：
1週間以内7人、1週間～1ヶ月2人、1ヶ月以上3人

● ワークライフバランス

	2015	2016	2017
月平均時間外労働時間(時間)	17.3	17.3	21.9
有給休暇取得日数(日)	8.2	8.2	11.5
一般社員	—	—	12.2
管理職	—	—	9.3
有給休暇取得率(%)	45.6	46.2	63.7
一般社員	—	—	69.4
管理職	—	—	48.0
年間休日	—	125.1	124.1
ボランティア休暇のべ取得人数(名)	35	57	46
ボランティア休暇のべ取得日数(日)	74	92	70

- 平均残業時間の注記
「働き方改革」を推進しており、2017年より裁量労働対象者についても可能な限り、在社時間等で残業時間に含めております。
- 有給休暇取得率の注記
年間の有給休暇取得日数を年間の法定有給休暇付与日数で除して算出しています。なお、2017年より管理職と一般職に分けて開示しております。また一部グループ企業で採用している法定外有給休暇も加味しております。
- 年間休日に関する注記
対象会社の年間休日を正社員の人数比で加重平均しております。

● 両立支援制度の例

育児

制度	SSHD、SHD、サミー等
育児休業制度	子が2歳に達した日以降も保育所に入所できない場合は、その後初めて到来する4月の保育所入所日まで
短時間勤務	小学就学まで最長2時間/日 小学3年生まで退勤時間を最長1時間短縮可

介護

制度	SSHD、セガHD、サミー等
介護休業制度	93営業日/名(介護短縮時間勤務含む)
介護短時間勤務	93営業日内で最長2時間/日
介護休暇	積立年休の保有日数を限度とし、長期介護休暇を取得可

株主・投資家とともに

Together with
Shareholders
and Investors

No.4

グループCSR憲章

私たちは、グローバルな視点をもって事業を展開し、継続的な成長・企業価値の最大化を目指します。そして、適正な利益還元と適時的確な情報開示を通じ、透明な経営を図り、株主・社会の期待に応えます。

グループ行動規範

「透明性の高い経営」「双方向コミュニケーション」

- (1) 法令その他のルールに則り、会社情報を適正かつ公正に開示し、経営の透明性の確保に努めます。
- (2) 株主の声に積極的に耳を傾け、双方向性のある対話型コミュニケーションに努めます。

「積極的かつ公平な開示姿勢」

- (3) 投資家の理解に資する会社情報の積極的な開示に努めます。
- (4) 全ての投資家と公平に接し、会社情報の偏在防止に努めます。

「適正な利益還元」「企業価値の最大化」「永続性」

- (5) 効率的な資産運用と、適正な利益還元を行います。
- (6) 世界の情勢や動向に常に目を配り、社会の期待に応えながら、企業価値の最大化と継続的な成長を目指します。

「インサイダー取引」

- (7) インサイダー取引に関する法令*・社内規程・ルールを遵守し、未公表の重要事実を厳格に取り扱います。

* 金融商品取引法第166条等をいう。



株主・投資家とともに

01 VOICE



SEGA Sammy
HOLDINGS

セガサミーホールディングス株式会社
財務経理本部 IR部

鈴木 美加 (Suzuki, Mika)

「分かりやすさ」を第一に、 積極的で迅速な情報発信に努めたい

主に四半期ごとの決算資料作成や投資家向けサイトの更新業務、「株主通信」の製作などを担当しています。決算資料は、開示レベルを維持しつつも、より見やすく分かりやすい決算資料にするためにデザインを含めた構成の見直しを毎年行っています。

株主の皆さまとの大切なコミュニケーションツールである「株主通信」は、当社の事業内容や製品に興味を持っていただくこと、楽しく読んでいただくことを意識して制作しています。当社製品の歴史を紹介する連載企画は株主アンケートでもご好評いただいています。

すべてのツールで心がけていることは、株主・投資家の皆さまへ分かりやすく情報を届けることです。今後も積極的かつ迅速な情報発信に加えて「分かりやすさ」を第一に業務に取り組みます。



株主・投資家への情報開示

IRポリシー

セガサミーホールディングスは、「IRポリシー」に基づき、金融商品取引法、その他法令および東京証券取引所の定める適時開示規則に沿って情報開示することはもちろん、経営方針や事業活動などの情報を幅広く提供することで、株主・投資家の皆さまからの一層の理解と信頼を得るための活動に努めています。また、法定開示、適時開示規則に該当しない任意開示情報についても、投資家の皆さまの投資判断に影響を与えないものは積極的に情報開示しており、東京証券取引所が提供するTDnetを通じて開示するとともに、当社WEBサイトでも開示します。

 **セガサミーグループIRポリシー**
https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/ir_policy/

株主・投資家とのコミュニケーション

▶ 開かれた株主総会の実施

セガサミーホールディングスはより多くの株主の皆さまに定時株主総会に出席していただけるよう、集中日を避け、収容人数に配慮して会場を決定しています。2018年6月の株主総会には、206名の株主の皆さまにご出席いただきました。今後も、ご意見やご質問をいただきやすい仕組みづくり、スムーズな運営などを心がけていきます。

▶ IR活動

国内外における投資家向け説明会などの実施や、株主・投資家の皆さまからのお問い合わせにお応えするためのIRインフォメーションセンターを設置しています。また、国内外の機関投資家や証券アナリスト向け決算説明会を半期に1度開催し、四半期決算に関しては電話会議による説明会を実施しています。当事業への理解を深めていただくため、証券アナリスト向けの施設見学会や勉強会なども行っています。個人投資家の皆さまと積極的にコミュニケーションを図るために、個人投資家向けイベントなどにも参加しています。



個人投資家向け説明会

● IR活動実績

	2017年3月期	2018年3月期
決算説明会(四半期毎、電話会議を含む)	4回	4回
スモールミーティング	3回	1回
個別ミーティング(国内)	149回	117回
個別ミーティング(海外)	148回	195回
事業セグメント別説明会(施設見学会を含む)	5回	4回
海外ロードショー(カンファレンスを含む)	3回(北米1回、アジア1回、欧州1回)	7回(北米3回、アジア2回、欧州2回)
国内カンファレンス	5回	4回
個人投資家イベント	4回	2回

IR活動に対する外部評価

2017年度にセガサミーグループのIR活動が第三者機関から表彰されたものは右の通りです。

- **平成29年度証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定**
広告・メディア・ゲーム部門 第3位
公益社団法人日本証券アナリスト協会 ディスクロージャー研究会(2017年10月)
- **2017年インターネットIR表彰 優良賞受賞**
大和インベスター・リレーションズ株式会社(2017年11月15日)
- **2017年度 全上場企業ホームページ 充実度ランキング**
総合ランキング42位 日興アイ・アール株式会社(2017年12月22日)
- **Gomez IRサイト総合ランキング2017 銀賞受賞**
モーニングスター株式会社(2017年12月13日)
- **GPIF「優れた統合報告書」選定**
年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)(2018年1月19日)

 **統合レポート**
https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/printing_annual/

適正な利益還元

利益配分に関する基本方針

セガサミーホールディングスは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。安定的な配当を実現すべく、配当は中間および期末の年2回とし、2018年3月期は、中間配当は1株あたり20円、期末配当は1株あたり20円を実施しました。

グループCSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

グループ行動規範

「地域社会」

- (1) 地域社会との連帯と協調を図り、地域に根ざす企業として積極的かつ自主的な交流に努めます。

「地球環境」

- (2) 資材調達から製造・流通・使用・リサイクル・廃棄まで、商品のライフサイクル全般にわたり地球環境への影響を考慮します。
- (3) 地球環境の保護のために、関係法令および各種規制を遵守するだけでなく、積極的かつ自主的な取り組みを検討・実行するよう努めます。
- (4) 地球環境に対する意識が高く、公私共に省資源・省エネルギーに努める人材を育成します。

社会と — 環 — With Society

1

in ツ葉

シーガイア ビーチクリーン



フェニックス・シーガイア・リゾートでは、宮崎県指定天然記念物である、アカウミガメおよびその産卵地の保護を目的とした海岸清掃活動「シーガイア ビーチクリーンinツ葉」を2015年より実施しています。毎年、地域住民の方や高校生にボランティアとして約100名の参加をいただき、生まれた子ガメが海へ向かう際の障害となる、家庭ごみや流木などの回収を行っています。清掃前にはNPO法人宮崎野生動物研究会会員宮崎市フェニックス自然動物園の出口 智久園長よりアカウミガメに関するお話をいただき、その生態を学ぶ場も設けています。



アカウミガメおよびその産卵地の保護を目的とした清掃活動

ともに 境

-Environment-

システムの導入

グリーン電力証書

2

E 2005年4月より日本自然エネルギー株式会社と契約し、年間100万kWhの「グリーン電力証書(マイクロ水力、バイオマス)」を購入しています。さらに、横浜市神奈川区に設置している風力発電機(ハマウイング)を中心に行われる横浜市風力発電事業に賛同し、2007年4月より、「Y(ヨコハマ)-グリーンパートナー」として協賛しています。2017年度の実績は139,258kWhでした。

 日本自然エネルギー株式会社
<http://www.natural-e.co.jp/>

 SEGA®
Holdings



日本自然エネルギー株式会社が風力・バイオマス・小水力などによるグリーン電力(自然エネルギー)の利用を証するマーク。

E メダルゲーム機の「バベルのメダルタワー」において、従来製品「アラビアンジュエル」の消費電力と比較して55%削減するなど、省電力化への取り組みを継続しています。これらアミューズメント機器は、現行製品の部品を新製品へリユース可能な設計にし、廃棄物抑制に努めています。また、整備・点検手順をマニュアル化して店舗で共有し、製品の長寿命化につなげています。アミューズメント施設では、日常整備の徹底などで機器の長寿命化を図るとともに、廃棄機器についてはセガ・ロジスティクスサービスで手分解し、100%リサイクルしています。同社では敷地内に産業廃棄物中間処理業者を招致し、処理コスト低減と不法投棄を防止するリサイクルシステムを全国展開し、「埋立ゼロ・単純焼却ゼロ」を達成しています。

遊 下取りとして回収した遊技機内の部品のリユース性をさらに高めるため、設計・開発段階から構成している部品・基板・ユニットの共通化を図り、中期的にリユースできる部品点数の目標値(パチスロでは50品目以上、パチンコでは15品目以上)を定め、継続して推進しています。前期、パチスロでは1機種最大で29品目、パチンコでは7品目のリユース投入を行いました。2018年度はさらにリユース品目を増加するため、パチスロについては細分解をせずに共通部品のユニット状態での取得を実施し、パチンコについては廃棄解体作業の材質仕分け時に並行して、共通部品のセンサー類やモーターの取得を行うことで、リユース品目の増加を図ります。

リユースできない部品については、パチスロ・パチンコ専門の解体業者との業務提携を行い、素材レベルへの分解(リサイクル)を推進し、環境負荷低減への取り組みを進めています。

業界内においては、他メーカーと連携し、部品・ユニットのプラットフォーム化を図り、業界全体での環境負荷低減に向けた取り組みを進めています。



パチスロ
ツインエンジェル
BREAK
©Sammy



バベルの
メダルタワー
©SEGA

環境への配慮として、ほぼすべての遊技機で待機中のLED(装飾部など)の明るさを抑えるなどの消費電力を抑制するエコ機能を搭載しており、導入を開始した2014年度以前の機種に比べて消費電力の5%の削減につなげています。また、お客さまご自身で音量や明るさを調節できる機能を追加。このほか、パチスロ、パチンコにおいて鉛フリーはんだ部品使用率100%を達成しています。日本遊技機工業組合や日本電動式遊技機工業協同組合が業界レベルで環境負荷物質の使用状況の把握と低減をしようとする試みにも参加し、情報を共有しています。

3

製品の 環境配慮設計

 SLS

 SEGA®
Interactive

 Sammy

E セガホールディングスでは、長野県が仲介役となって進める「森林(もり)の里親促進事業」の趣旨に賛同し、2008年4月より長野県南佐久郡南相木村と「森林(もり)の里親契約」を締結しています。その対象となる民有林約3,633ヘクタール(東京ドーム約773個に相当)を「セガの森」と名付け、CO₂吸収源となる森林の整備資金を一部提供することで地球環境保護に取り組んでいます。その整備によって、2017年度のCO₂吸収量は631.7t-CO₂でした。

また、地元の方々のご協力のもと、社員の地球環境保護に対する意識醸成の場としても活躍しています。2018年1月には、これまでの10年にわたる森林整備や地域交流などの功績が認められ、長野県森林づくり県民税活用の部にて長野県知事賞を受賞しました。



地域との交流

南相木村では、村民の皆さまが村の歴史、山歩きのコツ、美味しい作物を育てる大変さ、その作物の調理方法などの様々なお話を通じて、自然の厳しさ、大切さといった都会の日常では感じ取れないことを教えてください。



自然学習

自然を大切にする気持ちが次世代へと語り継がれていくことを願い、セガサミーグループ社員とその家族と一緒に体験できる、下草刈りや農作物の収穫、魚つかみなど、毎年趣向を凝らした自然学習イベントを行っています。

森林整備

日常的に「セガの森」を守り、育んでくださっている村民の皆さまにご指導いただき、森林整備の大切さや大変さを身をもって学ぶ機会として、枝打ち、間伐などの森林整備体験を毎年実施しています。



南相木村は総面積の8割程度を山林原野が占め、その谷間を縫うように川が流れる自然豊かな村です。

●南相木村WEBサイト：<http://www.minamiaiki.jp/>

「セガの森」が誕生した、2008年から設置しているアドプトサイン(森林が「セガの森」であることを表す看板)。南相木小学校の生徒の皆さんが、「自然と共に育む未来」をテーマに絵を描いてくださいました。



参加者の声

魚つかみも楽しかったですが、みんなで申うちをしたり協力して準備をしたことで子どもたちもほかの参加者のお子さんとも仲良くなれてよかったです。

日々の生活ではできないような魚つかみ、収穫体験などができて良かったです。

子ども二人とも「全部よかった」「またキャンプに行く」と大満足。

一ツ葉の森林

創ろう

みんな



5

R 「黒松の森宣言」を策定し、黒松林の環境保全活動に取り組んでいるフェニックス・シーガイア・リゾート(以下PSR)では、宮崎森林管理署主催「森づくり祭」に参加しています。2018年3月に、国有林でもある一ツ葉海岸(宮崎市佐土原町周辺)にて「みんなで創ろう一ツ葉の森林」のテーマのもと、クロマツ(2000年度に植栽)の枝打ち作業を実施しました。地元行政や住民の皆さま、林業関係者など約150名が参加するなか、PSRからも6名が参加し、地域一帯の活動に取り組みました。この黒松がかけがえのない財産として、次世代へ引き継がれるためにも、地域の皆さまとともに守り、育んでいきます。



環境に関するデータ

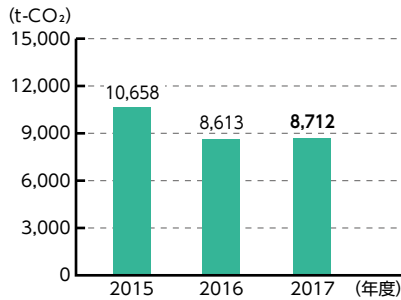
対象範囲

データ集計範囲 15社 (2015年度は(株)セガ・ライブクリエイションを含むため16社の数値)

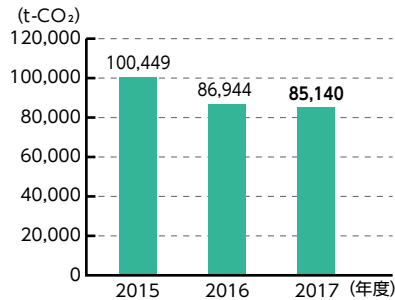
●SSHD/SHD/SAMMY/TOYS/TMS/SNW/PSR/SE/SIC/SGC/SLS/DL/JMS/BTF/JNEXT

※略称は、P.1参照

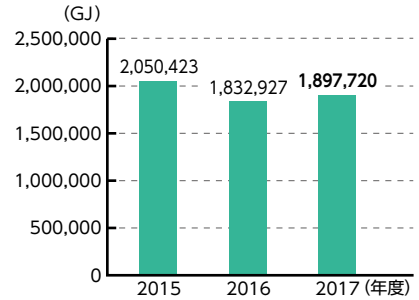
● CO₂排出量(スコープ1)



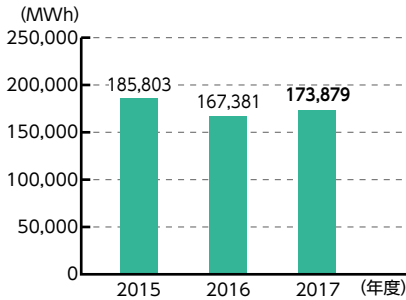
● CO₂排出量(スコープ2)



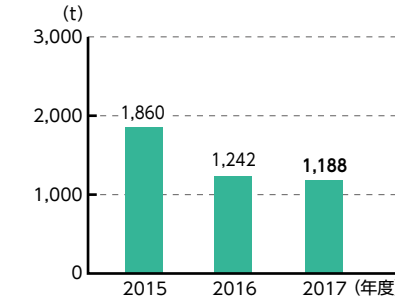
● 総エネルギー投入量



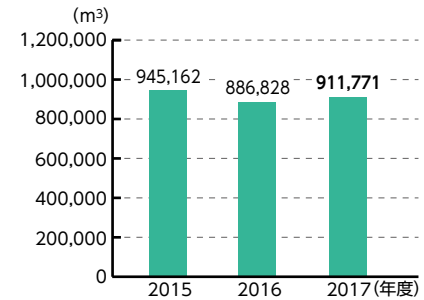
● 電力使用量



● 産業廃棄物排出量



● 水使用量



- 集計データの一部に床面積による推計値を含みます。
- CO₂総排出量の減少は、燃料使用量及び電気使用量の削減が主要因です。
- 購入電力のCO₂排出係数：各報告年度の前年度の電気事業者別の調整後排出係数を使用しています。

● サミー川越工場における環境配慮の状況

		2015年度	2016年度	2017年度	備考
遊技機のリサイクル率の推移	リサイクル率	97.28%	97.21%	95.99%	パチンコ・パチスロ合算
環境配慮素材の利用	木材使用量	1,077t	1,494t	566t	
	うちPEFC認証木材 ^{※1}	45t(4.2%)	84t(5.6%)	38t(6.8%)	

● 接着剤は、水系接着剤を含めて川越工場では使用しておりません。

※1 PEFC認証木材：PEFC森林認証プログラム(Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes)による認証木材。第三者機関より持続可能な森林管理の認証を受けた森林より適切に調達された木材。PEFC認証木材が使用できる製品の生産量が減少したことにより、使用量が減少しました。

社会とともに

社会貢献

グループCSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

グループ行動規範

「本業の繁栄」

(1) お客様に喜んでいただける商品・サービスの提供により本来の事業の繁栄を常に目指し、納税・雇用の創出により社会に貢献することを忘れません。

「社会への貢献」 「寄付」

(2) 事業活動を通じて社会に貢献するのみならず、芸術・スポーツなどの文化の支援にも積極的かつ自主的に取り組み、豊かな社会の実現に貢献します。

(3) 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、税法・商法・政治資金規正法等の関係法令に従って定められた社内ルールを遵守して、公明正大に行います。

VOICE



NPO法人PIECES副代表
荒井 佑介 (Arai, Yusuke)

クリエイティブガレージは、やりたいことがあっても様々な事情でできない子ども達の機会の格差の解消を目指しています。ゲームが好きで作ってみたいけど、パソコンがない、教えてくれる人がいない、自信がない、という子達に最初の一步のきっかけを提供できたらと思っています。この活動を通して、子ども達の進路や就職、人生が変わるきっかけが作れたらと思っています。



株式会社SKYS 代表取締役
豊田 聡 (Toyota, So)

荒井さんから「支援している高校生にゲーム作りを体験させてあげたい」とご相談を受けた際、セガゲームスとアジャイル開発/ビジネスコーチの業務を連携している関係で、柄澤さんにご協力を依頼、快諾いただき活動がスタートしました。子ども達はプロからアドバイスを受け、のびのびと制作に取り組んでいます。開始から1年が経ち、活動を始めるきっかけとなった高校生は特待生として大学へ入学。15人中8人の子どもが不登校から復帰するなど、活動が実を結んでいます。



子どもたちの経験格差を埋めたい!

セガサミーグループはNPO法人「PIECES」とともに、どんな子どもも尊厳を持って生きられる豊かな社会を目指して、子ども達が孤立しない仕組みを作る「クリエイティブガレージ」という活動に取り組んでいます。



(写真左から)

・株式会社 セガゲームス
ゲーム&デジタルサービス統括本部
IP&ゲーム事業部 開発統括部
アート&デザイン部

廣田 隆哉 (Hirota, Takaya)

・株式会社 セガゲームス
ゲーム&デジタルサービス統括本部
IP&ゲーム事業部 開発統括部
ソフト開発部

川口 薫 (Kawaguchi, Kaoru)

・豊田 聡 (Toyota, So)

・柄澤 容輔
(Karasawa, Yosuke)

・株式会社 セガゲームス
ゲーム&デジタルサービス
統括本部
IP&ゲーム事業部

佐々木 拓 (Sasaki, Taku)

2016年に荒井さんとお会いし、地域活動を模索していた当社にアドバイスをいただいたことがきっかけで「クリエイティブガレージ」に参加しました。2017年からは月2回のペースで当社研修施設を開放しています。当社は調理部門を担当し、今まで料理に関心なかった子どもたちに調理の面白さや、一緒に食事をする楽しさを伝えたいと考えています。将来、この中から外食業界で活躍してくれる人ができたら嬉しいです。



養老乃瀧株式会社
代表取締役社長
矢満田 敏之
(Yamada, Toshiyuki)

“心はアマチュア、腕はプロ”という気持ちで、プログラマーの川口 薫さん、テクニカルアーティストの佐々木 拓さん、廣田 隆哉さん、私の計4名で2016年12月より月2回お手伝いさせていただいています。最近ではゲーム作り以外にもアート系や料理のワークショップも始まり子どもたちの興味の種が芽吹いてポジティブな挑戦につながっています。今後もセガサミーグループ企業をはじめ、“その道のプロ”の方々と支援の輪を広げていきたいと思えます。



株式会社セガゲームス
エンタテインメントコンテンツ統括本部
コンシューマコンテンツ事業部
第1CSスタジオ デザイナー
柄澤 容輔
(Karasawa, Yosuke)

社会支援

絵本を届ける運動

SEGA Sammy

紛争地域などに暮らす子どもたちへのエンタテインメント提供を目的として、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の「絵本を届ける運動」に参加しています。オフィスや家にある不用品を回収し、その売却金で絵本を購入、現地語訳のシールを貼り、送付までの一連の活動を、グループ19社の社員で分担。2009年の活動開始から計2,138冊の絵本を現地へ送り出すことができました。エンタテインメントを通して、すべての子ども

たちに生きる力や夢を持つことができる世界を訪れることを祈り、これからも同活動を行っていきます。



社員のご家族が参加

パラ・ノルディックスキー 日本チームの継続的支援

SEGA Sammy

セガサミーグループは、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟のメンバーを母体とするパラ・ノルディックスキー日本チームを継続的に支援しています。

同連盟は、障がい者およびその関係者がクロスカンリースキーやバイアスロンに親しみ、競技力の向上と同競技の振興と普及を図ることを目的とする組織です。

「障がいのある方たちに、クロスカンリースキーやバイアスロンの楽しさを知っていただき、健康的な体づくりを目指してほしい。パラリンピックなどを目指す障がいのある青少年に夢を与えたい」という思いで活動する同チームに、これからも支援を続けます。



地域の高齢者の方を ショールームにご招待

Sammy

本社のショールームへ高齢者施設の利用者さまをお招きし、当社の製品を遊技していただく活動を行っています。2006年に社員からの発案で始まった本活動は通算で247回を数え、参加者は延べ1,196名、社員の参加者も延べ153名となりました。高齢者施設からの参加者の方々へ日常とは違った感動体験を提供しながら、エンタテインメントの社会的価値を再認識できる貴重な機会となっています。



ファミリーハウスさまからの寄付報告書



小学生向けプログラミング教室を開催

SEGA Entertainment

2020年文部科学省が小学生におけるプログラミング教育を必修化にあたり、子どもたちに楽しく学んでいただくための「プログラミング・ワークショップ」を2016年から開催し、2017年度はKids Beeやイオンモールなどで計22回、200名以上の小学生に参加いただきました。毎回すぐに満員御礼になるほどの人気です。2018年度は「プログラミング&ドローン」での体験プログラムも計画中です。今後も、子どもたちが楽し

みながら学ぶエンタテインメントを伝えていきたいと思っています。



体験プログラムに熱中する子どもたち

NPOとの協働による 玩具の寄贈と玩具除菌活動

SEGA Sammy HOLDINGS

SEGA TOYS

グループ内事業会社のおもちゃや子ども用グッズをNPOなどの非営利団体に寄贈しています。2009年度より毎年継続実施し9回目を迎えたこの取り組みは当社グループが、認定特定非営利法人日本NPOセンターとともに非営利団体を選定し寄贈しています。2017年度は、小児がんや小児の難病治療の家族の滞在支援をするNPOである認定NPO法人ファミリーハウスさまへ、セガトイズの商品約110点を寄贈しました。

また、当社グループの社員が宿泊施設を訪問し、一般のボランティアの方々と一緒に玩具やぬいぐるみの除菌作業を行った経験を活かし、社会支援の在り方を模索していきます。

スポーツ・芸術・文化支援

「TOKYO JAZZ FESTIVAL」への特別協賛



芸術・文化支援活動の一環として、世界中から一流のジャズアーティストが一堂に会する国内最大級のイベント「東京ジャズフェスティバル」への特別協賛を2002年の第1回開催より継続しています。「国境を越えて、世代を超えて」をテーマに毎年開催、良質な都市型音楽フェスティバルとして高い評価を得ています。



©16th TOKYO JAZZ FESTIVAL
©中島英雄/Hideo Nakajima

「長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント／ジュニアスポーツフェスティバル」の開催



「長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント」の開催地である千歳市、恵庭市、苫小牧市の小中学生を対象に、一流の講師が直接指導を行うスポーツ教室「ジュニアスポーツフェスティバル」を開催いたしました。今回で11回目の開催を迎えた本イベントでは、2018年2～6月の期間中に12競技の教室を実施、1,500名を超える子どもたちが参加しました。サッカー教室では、コンサドーレ札幌OBの吉原宏太氏が「事前準備をする」「目標をしっかり持つ」「失敗したら話し合う」ことの大切さを指導。子どもたちもその思いに

応えるかのように、熱心に聞き入り、一生懸命プレーしていました。このイベントがさらに地元に愛されるものとなるよう、これからも取り組みを続けていきます。



ジュニアスポーツフェスティバルのスキー教室

「セガサミーカップ学童軟式野球大会」への特別協賛



セガサミーグループは、東京都学童野球のレベルアップという大会の目的に賛同し、『セガサミーカップ学童軟式野球大会』に特別協賛しています。9回目の開催となった今回は16チームが出場。八王子市のセガサミー野球場と滝ガ原運動場で、355名の選手たちが熱戦を繰り広げました。また開会式同日には、セガサミー野球部現役選手による野球教室や、セガサミー野球部監督・コーチによる指導者向けの講習会など、野球教育のボトムアップの一助となるイベントも行われました。

累計参加者数2,100名を誇るこの大会が、子どもたちの夢を叶えるステージになれるよう、今後も協賛を続けていきます。



「セガサミーカップ学童軟式野球大会」優勝チーム

「感動体験を創造しよう、その足で」



「SAMMY SOCCER PROJECT」は“感動体験の創造”というグループミッションに基づいて実施する「SAMMY×SOCCER＝～社会をもっと元気に、カラフルに。～」というサッカーの本質的な楽しさを親子に再認識させるためのプロジェクトです。

サッカーの本質的な価値＝見て楽しい、興奮・感動できる“ココロを動かすサッカー”を次世代の子どもたちを中心に育成、“夢”の実現をサポートし、感動体験を創造・波及拡大の活動を続けていきます。



サッカーで子どもの夢をサポート

「NPO法人日本障害者ゴルフ選手会」への支援



日本国内における障害者ゴルフを取り巻く環境は、一般社会への認知度の低さに加えて、障がい者への周知もまだ十分とはいえず、障がい者が自由にゴルフを楽しめる機会や環境も少ないのが現状です。障がい者ゴルフを通じ、障がいがあっても生き甲斐を持って安心して楽しく過ごすことができる社会づくりを行う

NPO法人日本障害者ゴルフ選手会の活動を、寄付や告知活動などを通じて支援しています。



セガサミーカップ大会2018にて

地域活動

「小江戸川越ハーフマラソン 2017」への特別協賛



サミー川越工場の地元で毎年開催される「小江戸川越ハーフマラソン」に2010年の第1回開催から継続して特別協賛しています。2017年11月の大会は、約10,000名のランナーが参加しました。里見社長はじめセガサミーグループ社員・お取引先174名がランナーとして大会に参加しました。



地域の皆さまとの交流



毎年7月に行われる羽田神社夏季例大祭へ寄付を行うとともに、「子ども神輿」の休憩所を事業所内に設け、飲料を提供しています。また、2011年5月より町内会主導で行われる月例のごみ拾い「街並み清掃活動」へも参加しています。



八王子市内の児童養護施設との交流



セガサミー野球部は、拠点のある八王子市内の児童養護施設(3ヶ所)を、2010年より毎年12月に訪れ、クリスマスイベントとして、子どもたちと交流を図っています。2017年は野球部員など9名が訪問。セガサミーグループ製品をプレゼントしたり、キャッチボールをしたり、当日は園内に笑い声が溢れました。今後も地域との交流を図り、愛される強い野球部を目指していきます。

「佐倉市産業まつり 佐倉モノづくりFesta2017」へ出展



セガ・ロジスティクスサービスでは、事業所がある千葉県佐倉市が主催する「佐倉モノづくりFesta」に地域貢献の一環として2012年より参加しています。2017年は5月20・21日に開催され、両日で14,000人が来場する中、最新のUFOキャッチャーを出展し、大勢の方々に喜んでいただきました。これからも地域社会の一員として活動していきます。



学生たちの社会体験学習事前教育の支援



フェニックス・シーガイア・リゾートでは、地域の中学、高校、大学に協力し、学生たちの社会体験学習事前教育の一環として、マナーや意識の向上のため、マナー講座(出前授業)やバリアフリー見学会(シーガイア内)を実施しています。このほか、警察署や病院へも社員が出向き、「接客術を身につける講座」を開催するなど、地域の成長発展に積極的に参加しています。



学生たちへの出前授業



野球部員がサンタクロースに扮してプレゼント



セガサミーホールディングス株式会社

グループCSR推進室

〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目1番1号

住友不動産大崎ガーデンタワー

TEL : 03-6864-2408

URL : <https://www.segasammy.co.jp>

統合レポートとの関連性

統合レポートでは財務情報に、特に投資家の重視する非財務のESG情報を加えて報告しています。2018年より本レポートはCSR BOOKLETとして、統合レポートに掲載されていない項目やCSRの観点でより深く報告すべき項目を掲載しています。また社員のVOICEコーナーを充実し、セガサミーグループの事業や取り組み、働き方をより具体的に感じていただけるようになりました。統合レポートについては、ホールディングスWEBサイトIRページをご覧ください。

WEB <https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/>



免責事項

本レポートには、セガサミーグループの過去と現在の事実だけでなく、社会情勢に関する予想や発行日時点での経営計画や見通し、将来予測が含まれています。これらの予想・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の社会情勢や事業活動の結果が異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、ご了承いただけますようお願い申し上げます。



だれにも読みやすい、
ユニバーサルデザイン
フォントを使用して
います。